

令和5年度（2023年度）  
熊本県教職員研修計画



熊本県教育庁

令和5年（2023年）3月

# 目 次

第1章 教職員研修基本方針	1
1 計画の趣旨	2
2 くまもとの教職員像	2
3 教職員に求められる資質能力	2
(1) 校長及び教員	
(2) 事務職員（教育行政（教育事務）職員）	
(3) その他の教職員	
4 研修の基本的な考え方	3
第2章 教職員研修実施計画	7
1 研修の種類	8
2 研修一覧	9
3 研修概要	11
第3章 研修履歴の記録と研修履歴を活用した対話に基づく 受講奨励	25
1 対象となる教師の範囲	26
2 研修履歴の記録の目的	26
3 研修履歴の記録の範囲	26
4 研修履歴の記録の内容	26
5 研修履歴の記録の方法	26
6 研修履歴の記録の時期及び情報提供	27
7 対話に基づく受講奨励の方法・時期・役割	27
8 学校内で行う研修履歴の記録と学校管理職以外の教師 による対話に基づく受講奨励	27

## <資料>

- ・資料①「熊本県教員等の資質向上に関する指標」
- ・資料②「事務職員指標」

## 第 1 章 教職員研修基本方針

## 1 計画の趣旨

県教育委員会では、平成18年（2006年）に策定した「教職員研修見直し指針」に基づき、概ね3年間を一つの区切りとして教職員研修の実践と再評価を行い、PDCAサイクルによる研修の改善を進めてきた。

その後、平成29年（2017年）には、「教育公務員特例法等の一部を改正する法律」の施行により、「校長及び教員の職責、経験及び適性に応じて向上を図るべき校長及び教員としての資質に関する指標」を定めるものとされ、「くまもとの教職員像」（平成17年（2005年）策定）を踏まえて「熊本県教員等の資質向上に関する指標」（以下「熊本県教員等指標」という。）を策定し、指標を踏まえた教職員研修実施計画のもとで、教職員の資質能力の向上を図る研修を行ってきた。

令和4年（2022年）5月には、「新たな教師の学びの姿」を実現するため、教育公務員特例法及び教育職員免許法が一部改正され、これを受けた同年8月の「公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上の指標の策定に関する指針」の改定を踏まえ、熊本県教員等指標についても見直しを行い、令和5年（2023年）1月に改訂を行った。

さらには、令和5年（2023年）4月から改正教育公務員特例法に基づき、「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励」の仕組みが導入されることとなっている。

以上のことを踏まえ、これまでの本県教職員研修の実績を土台としながら、本県教職員の一層の資質向上を目指し、本計画を策定する。

## 2 くまもとの教職員像

県教育委員会では、教育に携わる者の人間性や社会性を示す「基本的資質」と、教育に関する専門的知識や技能等を示す「専門性」を、「くまもとの教職員像」の大きな柱としている。

	教職員としての基本的資質	教職員としての専門性
くまもとの 教職員像	①教育的愛情と人権感覚 自らの言動が児童生徒の人格形成に大きな影響を与えることを自覚し、豊かな人権感覚を持って、一人一人に温かく、また公平に接する教職員  ②使命感と向上心 教職員としての使命感と情熱を持ち続け、時代の変化から生じる新しい課題にも積極的に対応するため、常に新しい知識を求め、実践に生かす教職員  ③組織の一員としての自覚 互いに情報を共有し、協力し合って組織的に課題に対応する教職員	①児童生徒理解と豊かな心の育成 児童生徒との信頼関係を培い、一人一人の個性やよさをしっかりと見つめ、自分に対する自信と他者に対する思いやりの心を育む教職員  ②学習の実践的指導力 基礎・基本を習得させるための徹底した指導と児童生徒が自ら学び自ら考える力を身に付ける学習を着実に展開し、確かな学力を育む教職員  ③保護者・地域住民との連携 保護者・地域住民の大きな期待があることを自覚し、保護者や地域住民と情報を共有し、またそのニーズの把握に努め、互いの信頼関係の中で課題解決に当たる教職員

## 3 教職員に求められる資質能力

### (1) 校長及び教員※

熊本県教員等指標（別添資料①参照）は、「くまもとの教職員像」を踏まえ、各教員等のキャリアアップや人材育成の道しるべとして、経験段階に応じて求められる資質能力を明確化したものである。 ※「教育公務員特例法」における教員

## (2) 事務職員（教育行政（教育事務）職員）

事務職員指標（別添資料②参照）については、「くまもとの教職員像」を踏まえ、平成29年（2017年）に策定した「教育行政（教育事務）職 人事・人材育成基本方針」を基に作成したものである。同方針では、求める事務職員像を「自ら考えてチャレンジし、積極的に協働しながら、高い意識を持って実践する職員」としている。

## (3) その他の教職員

実習教師、学校司書、寄宿舎指導員、技師等についても、「くまもとの教職員像」を目指す姿とし、(1)及び(2)の指標を各職種・業務内容に応じて読みかえ、資質能力の育成を図るものとする。

## 4 研修の基本的な考え方

① 指標に基づいた資質能力の向上

② 新たな教育課題等に対応した研修の重点化

③ 効果的・効率的な研修の実施

### ① 指標に基づいた資質能力の向上

教職員研修の実施にあたっては、「熊本県教員等の資質向上に関する指標」等に基づき、育成する資質能力を明確にした上で、研修体系の構築や研修プログラムを開発する。

### ② 新たな教育課題等に対応した研修の重点化

新学習指導要領や本県教育委員会が策定する教育振興基本計画（「第3期くまもと『夢への架け橋』教育プラン」）及び本県を取り巻く教育の状況等を踏まえ、令和5年度（2023年度）は、次の研修に重点的に取り組む。

#### ●若手教職員の資質能力の育成 ※研修番号・研修名は、P9～10の「研修一覧」参照

(研修番号)研修名【所管課】	特に充実させる内容
103・106「小・中・義務教育・県立学校初任者研修」【教育センター】	・「社会人としての自覚と責任」、「コンプライアンス・働き方改革」等 ・教科等の基礎的な指導力の育成（主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善） ・生徒指導、学級経営についての基礎的な指導力の育成

#### ●管理職のマネジメント力の強化

201・203・205・207・211・212 「小・中・義務教育・県立学校新任管理職（校長・副校長・教頭・事務長）研修」【教育センター】	・学校現場の教育の情報化の促進に向けたマネジメント ・学校経営を取り巻く課題解決等（不祥事防止、リスクマネジメント、社会に開かれた教育課程の実現等）
--	---

●確かな学力の育成

408「熊本の学び」ステップ・アップ研修 【義務教育課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力定着を図る授業改善等の実践的研修</li> <li>学びを深める授業改善研修（教科等別も実施）</li> <li>全国及び県学力・学習状況調査活用研修</li> <li>特定の課題に対応する研修</li> </ul>
---------------------------------	---

●外国語の指導力向上

324「英語授業づくりプロジェクト」 【義務教育課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校英語担当教員の指導力向上及びリーダーの育成</li> <li>英語教育推進室・各教育事務所等・県立教育センターの指導主事等と各管内等の英語教育推進を担う教員とが連携・協働し、各地域の課題解決に向けた授業づくりについて研修を実施。</li> </ul>
-------------------------------	--

●ICT を活用した指導力向上

120～123・213・302・303 「ICT活用推進研修パッケージ」 【教育政策課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>全教職員のICT活用指導力の向上（情報活用能力の育成、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、個別最適な学びの実現）</li> </ul>
--	--

●特別支援学級担当者の指導力向上

305「特別支援学級担当者指導力向上研修」 【特別支援教育課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がいのある児童生徒の理解と支援</li> <li>一人一人の教育的ニーズに応じた支援</li> <li>教育課程の編成</li> <li>自立活動の実際</li> </ul>
------------------------------------	---

●生徒指導及びいじめ問題への対応力向上

316「県立学校生徒指導担当者連絡会」 【学校安全・安心推進課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の問題行動等に対する「懲戒処分」や「特別な指導」の進め方と組織的な生徒指導力の向上</li> </ul>
401「心のきずなを深めるシンポジウム」 【学校安全・安心推進課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ防止やSOSの出し方教育に係る実践発表、いじめ重大事態の未然防止に向けた講演の実施によるスキルアップ</li> <li>管理職等のいじめ問題への対応力の向上</li> <li>市町村教育委員会及び保護者（PTA関係等）への啓発</li> </ul>

●人権教育の充実

「熊本県人権教育・啓発基本計画（第4次）」と「第3期くまもと『夢への架け橋』教育プラン」の趣旨を踏まえた様々な人権問題に関する基本的認識の深化と実践的な指導力の向上

331「担当指導主事等研修会」 【人権同和教育課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当指導主事としての実践的な指導力の向上</li> </ul>
218「校長人権教育推進会議」 414「人権教育フォーラム」 【人権同和教育課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理職としての人権教育推進の方向性等に関する理解深化</li> </ul>

328「新任人権教育主任講習（オンライン研修）」 329「公立小中学校・義務教育学校人権教育主任研修会」 330「県立学校人権教育主任研修」 【人権同和教育課】	・人権教育主任としての役割の自覚及び実践的な指導力の向上
413「教職員のための菊池恵楓園現地研修」 【人権同和教育課】	・ハンセン病回復者及びその家族の人権に関する基本的認識の深化と実践的な指導力の向上

### ③ 効果的・効率的な研修の実施

- ・従来の「集合研修」に加え、「オンライン研修」及び集合研修とオンライン研修を組み合わせた「ハイブリッド研修」を充実させる。

オンライン 研修	オンデマンド型 研修	ホームページなどに掲載された動画コンテンツや資料等を各受講者が視聴して行う研修
	リアルタイム型 研修	研修の講師や受講者が、同時双方向的に音声、映像等をやりととりして行う研修

- ・学校や教職員の個別の研修ニーズに応じて行う研修や、指導主事による学校訪問等による研修を充実させる（スクールサポート、人権教育に関する教職員研修支援、英語授業づくりプロジェクト）。
- ・教職員が主体的に学ぶ研修動画を充実させる（自ら学ぶオンライン研修動画）。
- ・研修の重複や不足がないよう、研修内容を精査し、研修形態も含めて、効果的・効率的な方策を検討する。

例）研修の統合・削減・時間短縮、オンライン研修

#### ◆スクールサポート

学校、各種教育研究会、市町村教育委員会、県関係機関（教育事務所等）からの要請等に応じて、県立教育センター所員を派遣し、以下の項目について教職員に対して指導・助言を行う。

学校経営・運営等に関すること、教科等指導に関すること、今日的な教育課題に関すること（道徳教育、外国語教育、情報教育、特別支援教育、防災教育等）、児童生徒理解に関すること、校内研究等の推進に関すること、ICT活用に関すること（動画配信、オンライン研修等）

#### ◆人権教育に関する教職員研修支援

県内の市町村教育委員会や県立学校が主催する人権教育に関する教職員研修への人権同和教育課指導主事等派遣を通じて、教育現場における人材育成を支援する。

○方法：1時間程度の講話等（ワークショップを含む）への講師派遣

○内容：人権に関する法令・施策、情勢等に関すること、人権に関する知的理解の深化及び人権感覚の育成に関すること 等

◆「英語授業づくりプロジェクト」

英語教育推進室・各教育事務所・県立教育センターの指導主事等と各管内の英語教育推進を担う教員とが連携・協働し、各地域の課題解決に向けた授業づくりについて研修を実施する。

○対象者：小中学校英語担当教員

○指導・助言訪問者：英語教育推進室指導主事、県立教育センター指導主事、各教育事務所指導主事等

◆自ら学ぶオンライン研修動画

【県立教育センター「gacco」動画コンテンツ】

URL：<https://www.higo.ed.jp/center/>

	研修テーマ	本数
特別支援教育	特別支援教育全般	4本
	特別な支援を要する子供への対応	7本
	学びのUD化について（基本編）	8本
	学びのUD化について（高等学校編）	5本
	特別支援教育コーディネーター向け	7本
	特別支援学級担任向け	12本
	自立活動の指導（理論編）	8本
	自立活動の指導（実践編）その1～その3	27本
	共同研究の成果	7本
	特別支援学校におけるICT教材の活用事例	8本
理科関係	時短につながる理科室整理のポイント	1本
防災教育	防災教育と心のケア	3本
学習指導要領 （小・中・高・特支）	小学校学習指導要領の説明	12本
	中学校学習指導要領の説明	12本
	小学校・中学校共通	1本
	高等学校学習指導要領の改訂のポイントと学習評価	22本
	特別支援学校	4本
英語教育	小学校	1本
	中学校	3本
令和元年度カリキュラム・マネジメント実践動画発表（共同研究より）	小学校	7本
	中学校	8本
	高等学校	7本
人権教育	※人権同和教育課HPに掲載 URL： <a href="https://ws.higo.ed.jp/jindou-kyouiku">https://ws.higo.ed.jp/jindou-kyouiku</a> (ID：jinken PW：jinkenkyouiku)	12本
教育の情報化	教育の情報化とは	1本
授業マイスター動画	小学校	2本
	中学校	5本
合計		194本



## 第2章 教職員研修実施計画

## 1 研修の種類

研修名		内 容
基本研修		<ul style="list-style-type: none"> <li>・法定研修（初任者研修、中堅教諭等資質向上研修）</li> <li>・職務経験年数や重点取組に応じて、教育委員会が該当者を指定して行う研修</li> </ul>
専門研修	管理職等研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職等（校長・副校長・教頭・主幹教諭・事務長）に対して行う研修</li> </ul>
	担当者研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職務に応じて必要とされる資質・能力の向上を目指して行う研修（各業務担当者に対して実施するもの）</li> </ul>
選択研修		<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性や実践的指導力の向上、今日的教育課題への対応等、個々のスキルアップを目指して行う研修（希望や推薦で受講するもの）</li> </ul>
特別研修		<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野の研究や幅広い知識等の習得のため、外部機関等で行う研修（推薦や審査を経て受講するもの）</li> </ul>
スクールサポート 学校訪問等による指導 自ら学ぶオンライン研修 動画		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や教職員個々の研修ニーズに応じて受講する研修</li> <li>・指導主事等による学校訪問等により教職員の指導力向上や人材育成等を図る。</li> <li>・教職員が動画コンテンツを活用して自ら学ぶ研修</li> </ul>

次ページの「研修一覧」の所管の表記

教育政策課・・・教政

学校人事課・・・学人

高校教育課・・・高校

特別支援教育課・・・特支

学校安全・安心推進課・・・学安

体育保健課・・・体育

義務教育課・・・義務

社会教育課・・・社教

人権同和教育課・・・人同

県立教育センター・・・センター

## 2 研修一覽

### 基本研修

#### <基本研修>

- ・法定研修(初任者研修、中堅教諭等資質向上研修)
- ・職務経験年数や重点取組に応じて、教育委員会が該当者を指定して行う研修

(23本)

No.	研修番号	研修名	所管
★重	1	101 幼稚園等新規採用教員・保育士研修	義務・センター
★重	2	102 幼稚園等中堅教諭等資質向上研修	義務・センター
★重	3	103 初任者研修(小・中・義務教育学校)	センター
★	4	104 5年経験者研修(小・中・義務教育学校)	センター
★	5	105 中堅教諭等資質向上研修(小・中・義務教育学校)	センター
★重	6	106 初任者研修(高・特)	センター
★	7	107 5年経験者研修(高・特)	センター
★	8	108 中堅教諭等資質向上研修(高・特)	センター
	9	109 新規採用養護教諭研修	センター
★	10	110 養護教諭5年経験者研修	センター
★	11	111 養護教諭中堅教諭等資質向上研修	センター
★	12	112 新規採用栄養教諭研修	センター
★	13	113 栄養教諭5年経験者研修	センター
★	14	114 栄養教諭中堅教諭等資質向上研修	センター
	15	115 新規採用教育行政(教育事務)職員研修	学人
	16	116 4年目教育行政(教育事務)職員研修	学人
	17	117 7年目教育行政(教育事務)職員研修	学人
	18	118 10年目教育行政(教育事務)職員研修	学人
★	19	119 新任学校司書、新任実習教師、新任寄宿舎指導員研修	センター
★重	20	120 市町村立学校対象一人一台端末アカウント研修	教政
★重	21	121 県立学校対象生徒・教員グループアカウント研修	教政
重	22	122 Google Workspaceタブレット端末操作研修(高等学校)	教政
★重	23	123 GIGAスクール構想における学びに関する研修	教政

【研修番号120～123、213、302、303】

#### ◆「ICT活用推進研修パッケージ」

本県のICTを活用した教育の推進を図るための取組みの全体像をGIGAスクール構想対応「ICT活用推進研修パッケージ」として示している。具体的には、校種別実践ガイドブック等による啓発、対面型研修での実践的演習、ウェブサイト・オンライン研修での自主的なスキル向上、一人一台端末環境での活用環境づくりなどを体系的に実施する。

### 専門研修

#### <管理職等研修>

- ・管理職等(校長・副校長・教頭・主幹教諭・事務長)に対して行う研修

#### <管理職等研修>

(24本)

No.	研修番号	研修名	所管
★重	1	201 小中義務教育学校新任管理職(校長・副校長)研修	センター
★	2	202 小中義務教育学校管理職(2年目校長・副校長)研修	センター
★重	3	203 県立学校新任管理職(校長)研修	センター
★	4	204 県立学校管理職(2年目校長)研修	センター
★重	5	205 小中義務教育学校新任管理職(教頭)研修	センター
★	6	206 小中義務教育学校管理職(2年目教頭)研修	センター
★重	7	207 県立学校新任管理職(教頭)研修	センター
★	8	208 県立学校管理職(2年目教頭)研修	センター
★	9	209 小中義務教育学校新任主幹教諭研修	センター
★	10	210 県立学校新任主幹教諭研修	センター
★重	11	211 県立学校新任事務長研修	センター
新重	12	212 小中義務教育学校新任事務長研修	センター
★重	13	213 学校CIO(管理職)研修	教政
★	14	214 教職員人事評価制度に係る評価者研修	学人
	15	215 特別支援教育小中義務教育学校管理職研修	特支
	16	216 認定こども園・幼稚園・保育所等園長等研修	義務
	17	217 認定こども園・幼稚園・保育所等教頭・主任等研修	義務
重	18	218 校長人権教育推進会議	人同
	19	219 学校マネジメント研修“リスクマネジメント編”	センター
	20	220 学校マネジメント研修“組織づくり・人材育成編”	センター
★	21	221 学校マネジメント研修“学校課題解決編”	センター
★	22	222 学校マネジメント研修“組織変革ファシリテーション編”	センター
	23	223 学校マネジメント研修“リーダーシップ編”	センター
	24	224 学校マネジメント研修“働き方改革編”	センター

※研修番号201～204の受講者は、下記の研修から必ず一つ選択して受講する(希望選択)。206・208の受講者は、希望があれば一つ選択して受講する(希望選択)。受講料に余りがある場合、その他の希望者の受講可(研修概要を参照)。

#### ★・・・オンライン研修を含む

新・・・R5年度開設

重・・・R5年度に重点的に取り組む研修

#### 「オンライン研修」

- ・熊本県立教育センターが管理する動画配信システム「gacco」を活用した、場所・時間を問わず受講可能な研修
- ・動画配信等による研修

#### <担当者研修>

- ・職務に応じて必要とされる資質・能力の向上を目指して行う研修

#### <担当者研修>

(33本)

No.	研修番号	研修名	所管
★	1	301 熊本県学校支援チーム隊員研修	教政
★重	2	302 市町村立学校情報モラル研修会	教政
★重	3	303 県立学校情報モラル研修会	教政
★	4	304 県立高等学校新任教務主任研修	高校
重	5	305 特別支援学級担当者指導力向上研修	特支
★	6	306 特別支援学校医療的ケア教員研修	特支
★	7	307 特別支援学校ICT活用研修会	特支
	8	308 特別支援学校技能検定担当者研修会	特支
★	9	309 教務主任研修(特別支援学校)	特支
★	10	310 学部主事等研修会	特支
新	11	311 特別支援教育実践スキルアップ研修(特別支援学校)	特支
重	12	312 防災主任研修会	学安
	13	313 防災教育に関する研修会	学安
★	14	314 県立学校教育相談担当者連絡会	学安
	15	315 学校安全教室講習会	学安
★重	16	316 県立学校生徒指導担当者連絡会	学安
	17	317 情報集約担当者研修会	学安
新	18	318 生徒指導担当者研修	学安
	19	319 健康教育担当者研修会	体育
	20	320 高等学校等体育主任会	体育
	21	321 認定こども園・幼稚園・保育所等熊本県研究協議会	義務
	22	322 幼・保等、小、中連携セミナー	義務
	23	323 小中学校キャリア教育研修会	義務
★重	24	324 英語授業づくりプロジェクト	義務
	25	325 JETプログラム外国語指導助手の指導力等向上研修	義務
	26	326 道徳教育パワーアップ地区別研修会	義務
★重	27	327 日本語教育支援連絡協議会	義務
★重	28	328 新任人権教育主任講習	人同
重	29	329 公立小中学校・義務教育学校人権教育主任研修会	人同
重	30	330 県立学校人権教育主任研修	人同
重	31	331 担当指導主事等研修会	人同
	32	332 学校事務センター給与・旅費グループ長及び共同実施主任研修	学人
	33	333 学校司書実践研修	センター

### 選択研修

#### <選択研修>

・専門性や実践的指導力の向上、今日的な教育課題への対応等、個々のスキルアップを目指して行う研修

(19本)

No.	研修番号	研修名	所管
重 1	401	心のきずなを深めるシンポジウム	学安
重 2	402	小学校(幼稚園)体育指導力向上研修会	体育
3	403	小学校水泳実技・水難事故防止セミナー	体育
重 4	404	中学校保健体育指導力向上研修会	体育
5	405	高等学校等保健体育指導力向上研修会	体育
6	406	運動部活動指導教職員(部活動指導員含む)及び地域の指導者指導力向上研修会	体育
7	407	創造 熊本の教育チャレンジゼミ	義務・学人
重 8	408	「熊本の学び」ステップ・アップ研修	義務
新 9	409	「熊本の学び」シンポジウム	義務
10	410	幼児教育アドバイザー育成研修	義務
11	411	「地域と学校の連携・協働」関係者等研修	社教
12	412	「地域と学校の連携・協働」推進実践交流会	社教
重 13	413	教職員のための菊池恵楓園現地研修	人同
重 14	414	人権教育フォーラム	人同
15	415	タブレット活用授業実践研修(初級編)	センター
★ 16	416	プログラミング教育研修(ビジュアルプログラミング編)	センター
★ 17	417	プログラミング教育研修(プログラミング言語編)	センター
18	418	リーダー養成研修	センター
19	419	教育行政(教育事務)職員ステップアップ研修	学人

### 特別研修

#### <特別研修>

・専門分野の研究や幅広い知識等の習得のため、外部機関等で行う研修

(11本)

No.	研修番号	研修名	所管
1	501	知事部局派遣研修	教政
2	502	学校組織マネジメント研修	教政
★ 3	503	学校教育の情報化指導者養成研修	教政
4	504	職業教育担当教員先端企業等研修	高校
5	505	国内留学派遣研修	高校
6	506	大学院派遣研修	高校 義務
7	507	教職員等中央研修	高校 義務 学安 体保 学人
8	508	指導力サポート研修	高校・義務・特支
9	509	指導改善研修	高校・義務・特支
10	510	国立特別支援教育総合研究所研修	特支
11	511	「特別支援教育」国内留学生派遣研修	特支

※オンライン研修の実施については、各研修実施機関の計画による。

#### ◆「スクールサポート」

学校、各種教育研究会、市町村教育委員会、県関係機関(教育事務所等)からの要請等に応じて、県立教育センター所員を派遣し、以下の項目について教職員に対して指導・助言を行う。

- ・学校経営・運営等に関すること
- ・教科等指導に関すること
- ・今日的な教育課題に関すること  
(道徳教育、外国語教育、情報教育、特別支援教育、防災教育等)
- ・児童生徒理解に関すること
- ・校内研究等の推進に関すること
- ・ICT活用に関すること(動画配信、オンライン研修等)

#### ◆自ら学ぶオンライン研修動画

熊本県立教育センター「gacco」の動画コンテンツを活用して、自ら学ぶことができる。  
※P6「自ら学ぶオンライン研修動画」参照  
※年度途中で動画を追加した場合は、別途通知する。

#### ◆学校訪問による指導

##### 「英語授業づくりプロジェクト」

小学校英語に係る担当教員の指導力向上を目指し、英語教育推進室・各教育事務所・県立教育センターの指導主事等と各管内の英語教育推進を担う教員とが連携・協働し、各地域の課題解決に向けた授業づくりについて研修を実施する。

#### ◆人権教育に関する教職員研修支援

県内の市町村教育委員会や県立学校が主催する人権教育に関する教職員研修への人権同和教育課指導主事等派遣を通じて、教育現場における人材育成を支援する。

#### ○方法

1時間程度の講話等(ワークショップを含む)への講師派遣

#### ○内容

人権に関する法令・施策、情勢等に関すること、人権に関する知的理解の深化及び人権感覚の

3 研修概要  
【基本研修】

番号	研修名	所管	資質能力を構成する 主な具体的要素	目的	内容 (はオンライン研修)	対象者 参加人数	日数	会場	日程等
101	幼稚園等新規採用教員・保育士研修	義務・センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 特別支援教育 学級経営 学校安全	幼稚園等の新規採用教員に対し、幼稚園等教員・保育士としての職務遂行に必要な事項に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見の修得を図る。	・講話・行政説明・班別協議 ・社会人としての自覚と責任・セルフマネジメント (コンプライアンス・働き方改革含む)	幼稚園・保育所等新規採用教員・保育士約60～150人	1日	県庁	4月19日
					1日		県庁	6月5日	
					1日		県立教育センター	7月5日	
					1日		県庁	9月13日	
					1日		近隣小学校	9月～11月	
					1日		県立教育センター	11月16日	
					1日 計7日		その他	2月7日	
102	幼稚園等中堅教諭等資質向上研修	義務・センター	教職としての素養 社会性 リーダーとしての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 特別支援教育 学級・学年経営 連携・協働 学校安全 リーダーとしての専門性	幼稚園等の中堅教諭に対して、個々の能力、適性等に応じた研修を実施することにより、職務遂行に必要な実践的な指導力及び専門性を高めるとともに、園の中核的な役割を果たす中堅教員としての資質の向上を図る。	・開会行事・市町村教育局長講話・人権教育の推進・中堅教諭としての現状と課題、そしてこれから・特別支援教育・コンプライアンス・働き方改革 ・閉会行事	公私立幼稚園等10年経験者若干名	1日	県立教育センター	5月31日
					1日		県庁	7月13日	
					1日		県庁		
					3日		県庁	5月26日 10月27日 2月16日	
					1日		県庁	8月22日	
					1日 計8日		所属園で決定(選択)	所属園で決定	
					103		初任者研修(小・中・義務教育学校)	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 特別支援教育 ICTや情報・教育データの効果的な活用 学級・学年経営 連携・協働 学校安全
5日	県立教育センター	(小・義)5月30日・6月6日 7月4日 7月31日 8月16日・17日 11月7日・8日 (中・義)5月23日 6月20日 7月28日 8月18日 11月14日							
1日	各学校等	(小・義)6月15日(基準日) (中・義)6月1日(基準日)							
3日	各教育事務所の計画による(原則として)								
3日	県立教育センター(1日)、特別支援学校(2日)	8月22日・23日・24日・25日のいずれか(センター研修) 9月～11月のうち指定された2日(特別支援学校)							
2日	各市町村教育委員会の計画による								
計15日									
103	初任者研修(2年次)(小・中・義務教育学校)(2年目研修)	センター	教職としての素養 使命感・倫理観 学習指導 生徒指導 特別支援教育 学級・学年経営	令和3年度(2021年度)初任者研修を修了した教諭に対して、複数年にわたる段階的育成をとおして、使命感と情熱、学び続ける姿勢等、教員としての資質を高めるとともに、当面する教育課題への対応と実践的指導力の一層の向上を図る。	・(小・中・義共通)・教科等指導研修 (小・義)・学習指導要領総則について・生徒指導・学級経営における課題解決に向けて (中・義)・カリキュラムマネジメント・児童生徒理解・保護者対応	令和4年度(2022年度)初任者研修を修了した教諭251人	1日	県立教育センター	(小・義)6月12日 (中・義)6月19日
					1日		県立教育センター	(小・義)1月16日・17日 (中・義)1月19日	
					計2日				
103	初任者研修(3年次)(小・中・義務教育学校)(3年目研修)	センター	教職としての素養 使命感・倫理観 学習指導 生徒指導 特別支援教育 学級・学年経営	令和2年度(2020年度)初任者研修を修了した教諭に対して、複数年にわたる段階的育成をとおして、使命感と情熱、学び続ける姿勢等、教員としての資質を高めるとともに、当面する教育課題への対応と実践的指導力の一層の向上を図る。	・教科等指導研修 ・生徒指導事例に学ぶ ・学級経営における課題解決に向けて ・教科等指導研修 ・今後の飛躍を目指して(初任3年間を振り返って) ・県立教育センター所長講話 ・閉会行事	令和3年度(2021年度)初任者研修を修了した教諭250人	1日	県立教育センター	(小・義)7月3日 (中・義)7月11日
					1日		県立教育センター	(小・義)1月23日・24日 (中・義)2月2日	
					計2日				
104	5年経験者研修(小・中・義務教育学校)	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 特別支援教育 ICTや情報・教育データの効果的な活用 学級・学年経営 連携・協働 学校安全	新規採用後5年を経過した教員に対して、使命感と情熱、学び続ける姿勢等、教員としての資質を高め、学級担任及び教科担任としての指導力の更なる向上を図る。	・開会行事・コンプライアンス・働き方改革・特別支援教育・コース別研修(教科等指導)	新規採用後5年を経過した教諭(小・中・義230人)	1日	県立教育センター	(小・義)6月21日 (中・義)6月27日
					1日		各学校等	(小・中・義)7月3日～11月10日	
					1日		各学校等	(小・中・義)7月25日(基準日)	
					1日		県立教育センター	(小・義)11月21日・22日 (中・義)11月28日	
計4日									

番号	研修名	所管	資質能力を構成する 主な具体的要素	目的	内容 (はオンライン研修)	対象者 参加人数	日数	会場	日程等					
105	中堅教諭等資質向上 研修(小・中・義務教育 学校)	センター	教職としての素養 社会性 リーダーとしての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 特別支援教育 ICTや情報・教育データ の効果的な活用 学級・学年経営 学校経営 連携・協働 学校安全 リーダーとしての専門性	中堅教諭等に対して、個々の能力、適性等に応じた研修を実施することにより、教科指導、生徒指導等に関する指導力及び教諭としての資質の向上を図る。	・開会行事 ・市町村教育局長講話 ・人権教育の推進について ・コンプライアンス・働き方改革 ・道徳 ・コース別研修(教科等指導) ・特別支援教育 ・教育の情報化 ・防災教育と心のケア ・生徒指導 ・学校が目指すべき家庭や地域との連携、協働の在り方 ・学校マネジメント ・県立教育センター所長講話 ・閉会行事	熊本市を除く小・中学校、八代支援学校及び県立中学校の教諭で、新規採用後10年を経過した教諭(小・中・義199人)	4日	県立教育センター	(小・義) 5月31日 8月7日 10月18日 1月30日  (中・義) 5月25日 8月4日 11月9日 2月6日					
					・コース別研修(教科等指導) 、 ・学校マネジメント ・防災教育と心のケア	1日	各学校等	(小・義)6月23日 (中・義)6月13日						
					・コース別研修(教科等指導)	1日	各学校等	(小・中・義) 7月3日～1月29日						
					・オンライン研修 ・特別支援教育 ・社会体験関連研修	1日	各学校等	(小・中・義) 9月12日(基準日)						
							計7日							
106	初任者研修(高・特)	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 特別支援教育 学級・学年経営 学校安全	県立学校の新任教員に対して、現職研修の一環として、1年間の研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見の習得を図る。	・教育長講話 ・人権教育の推進について ・教育公務員倫理 開会行事 ・初任者研修の概要、オンライン研修に関する事務連絡 ・教科等指導研修	新任教員全員 123人(高53+特70)	1日	各学校等	4月3日～4月10日					
					・生徒指導 ・社会人としての自覚と責任 ・防災教育と心のケア ・健康・安全・部活動	1日	県立教育センター	5月11日						
					・カウンセリング ・社会人としての自覚と責任 ・教科等指導研修	1日	各学校等	5月22日～6月9日						
					・教科等指導研修	1日	県立教育センター	6月8日						
					・特別支援教育研修	1日	県内各地	7月6日						
					・道徳教育 ・教科等指導研修	1日	県立教育センター	8月22日・23日・24日・25日のいずれか(センター研修)						
					・教育の情報化 ・教科等指導研修	1日	県立教育センター	(特支)7月26日 (高校)7月27日						
					・特別支援教育研修	1日	各学校等	(特支)8月1日 (高校)8月3日						
					・特別支援教育研修	1日	県立教育センター	8月22日・23日・24日・25日のいずれか(センター研修)						
					・セルフマネジメント・防災教育と心のケア ・教科等指導研修	2日	特別支援学校又は小・中・義務教育学校	9月～11月うち指定された2日間						
					・キャリア教育 ・総合的な探究の時間/自立活動・教科等指導研修	1日	県立教育センター	9月7日						
					・教科等指導研修	1日	(高)県立教育センター又は県内各地 (特)県立教育センター	10月5日						
					・教科等指導研修	1日	(高)県内各地 (特)県立教育センター	10月19日						
					・教科等指導研修	1日	県立教育センター	12月7日						
					・教科等指導研修 ・学級経営 ・2年目に向けて ・閉会行事	1日	県立教育センター	2月1日						
												計15日		
					107	5年経験者研修(高・特)	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 特別支援教育 学級・学年経営 学校安全	令和4年度(2022年度)初任者研修を修了した教諭に対して、複数年にわたる段階的育成をとおして、使命感と情熱、学び続ける姿勢等、教員としての資質を高めるとともに、当面する教育課題への対応と実践的指導力の一層の向上を図る。	・開会行事 ・生徒指導 ・保護者との連携 ・教科等指導研修	令和4年度(2022年度)初任者研修を修了した教諭 70人	1日	県立教育センター	6月29日
・教科等指導研修 ・学級経営における課題解決 に向けて ・県立学校教育局長講話 ・閉会行事	1日	県立教育センター	1月18日											
										計2日				
107	5年経験者研修(高・特)	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 特別支援教育 学級・学年経営 学校安全	令和3年度(2021年度)初任者研修を修了した教諭に対して、複数年にわたる段階的育成をとおして、使命感と情熱、学び続ける姿勢等、教員としての資質を高めるとともに、当面する教育課題への対応と実践的指導力の一層の向上を図る。	・開会行事 ・生徒指導・学級経営における成果と課題 ・キャリア教育 ・教科等指導研修	令和3年度(2021年度)初任者研修を修了した教諭 78人	1日	県立教育センター	7月13日					
					・教科等指導研修 ・県立教育センター所長講話 ・今後の飛躍を目指して(初任3年間を振り返って) ・閉会行事	1日	県立教育センター	1月25日						
												計2日		
107	5年経験者研修(高・特)	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 特別支援教育 学級・学年経営 学校安全	新規採用後5年を経過した教員に対して、使命感と情熱、学び続ける姿勢等、教員としての資質を高め、職務遂行能力の一層の向上を図る。	・開会行事 ・人権教育の推進について ・防災教育と心のケア ・学校マネジメント ・コンプライアンス・働き方改革—① ・いじめ問題への対応	新規採用後5年を経過した教諭 67人	1日	各学校等	7月3日～24日					
					・防災教育と心のケア ・教科等指導研修	1日	県立教育センター	(特支)7月26日 (高校)7月27日						
					・教科等指導研修	1日	各学校等	8月1日～11月29日						
					・コンプライアンス・働き方改革 ・教科等指導研修 ・生徒指導・学級経営 ・閉会行事	1日	県立教育センター	12月6日						
							計4日							
108	中堅教諭等資質向上 研修(高・特)	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 特別支援教育 学級・学年経営 学校安全	中堅教諭等に対して、個々の能力、適性等に応じた研修を実施することにより、教科指導、生徒指導等に関する指導力及び教諭としての資質の向上を図る。	・開会行事 ・県立学校教育局長講話 ・人権教育の推進について ・教科等指導研修	新規採用後10年を経過した教諭 140人	1日	県立教育センター	6月14日					
					・学校マネジメント ・道徳教育 ・教育の情報化 ・防災教育と心のケア	1日	各学校等	6月15日～7月31日						
					・教科等指導研修	1日	県立教育センター(一部所外)	8月2日						
					・教科等指導研修	1日	各学校等	8月3日～1月31日						
					・特別支援教育 ・コンプライアンス・働き方改革 ・社会体験関連研修	1日	各学校等	8月7日～9月29日						
					・特別支援教育 ・(高)総合的な探究の時間(特)特別支援学校のセンター的機能 ・学校におけるカウンセリング ・防災教育と心のケア	1日	県立教育センター	10月3日						
					・コンプライアンス・働き方改革 ・教科等指導研修 ・道徳教育 ・研修のまとめ ・閉会行事	1日	県立教育センター	2月7日						
							計7日							

番号	研修名	所管	資質能力を構成する 主な具体的要素	目的	内容 (はオンライン研修)	対象者 参加人数	日数	会場	日程等
	新規採用養護教諭研修	センター	教職としての素養 社会性 リーダーとしての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 特別支援教育 保健室経営 保健管理 保健教育 連携・協働 学校安全	新規採用養護教諭に対して、健康教育や養護全般に関する研修を実施し、養護教諭の基礎的及び専門的知識・技能の向上を図るとともに、実践的指導力と使命感を養い、幅広い知見を習得させる。	・教育長講話 ・人権教育の推進について ・教育公務員倫理	新規採用養護教諭全員 13人	1日	各学校等	4月3日～4月10日
					・開会行事 ・保健管理の実際 ・健康診断の実際 ・歯、口腔の健康診断及び保健指導の実際 ・学校における養護教諭の役割	1日	県立教育センター	4月27日	
					・学習指導要領と保健教育 ・学校の危機管理における養護教諭の役割 ・防災教育と心のケアにおける養護教諭の役割	1日		8月3日	
					・特別支援教育 ・コンプライアンス・働き方改革 ・保健室経営の実際 ・救急処置の実際	1日		9月26日	
						計4日			
109	養護教諭2年目研修	センター	教職としての素養 リーダーとしての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 ICTや情報・教育データの効果的な利活用 保健室経営 保健管理 保健教育 連携・協働 学校安全	令和4年度(2022年度)新規採用研修を修了した養護教諭に対して、複数年にわたる段階的育成をとおして、使命感と情熱、学び続ける姿勢等、教員としての資質を高めるとともに、当面する教育課題への対応と実践的指導力の一層の向上を図る。	・保健室経営計画について ・学校環境衛生について ・学校におけるカウンセリング	令和4年度(2022年度)新規採用養護教諭研修を修了した14人	1日	県立教育センター	7月14日
					・救急法 ・保健管理・保健教育におけるICT活用 ・感染症の予防と対応	1日		10月17日	
						計2日			
	養護教諭3年目研修	センター	教職としての素養 使命感・倫理観 生徒指導 保健室経営 保健管理 保健教育 連携・協働	令和3年度(2021年度)新規採用研修を修了した養護教諭に対して、複数年にわたる段階的育成をとおして、使命感と情熱、学び続ける姿勢等、教員としての資質を高めるとともに、当面する教育課題への対応と実践的指導力の一層の向上を図る。	・近隣校視察	令和3年度(2021年度)新規採用養護教諭研修を修了した17人	1日	近隣校	6月～9月
					・3年間を振り返って ・生徒指導 ・保健教育(授業実践)の発表 ・県立教育センター所長講話 ・閉会行事	1日	県立教育センター	2月2日	
						計2日			
110	養護教諭5年経験者研修	センター	教職としての素養 社会性 リーダーとしての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 保健室経営 保健管理 保健教育 連携・協働 学校安全 リーダーとしての専門性	新規採用後5年を経過した養護教諭に対して、向上期の経験に応じた研修を実施することにより、実践的指導力及び専門性を高め、職務遂行能力の一層の向上を図る。	・人権教育の推進について ・コンプライアンス・働き方改革 ・防災教育と心のケア ・生徒指導	新規採用後5年を経過した養護教諭	1日	各学校等	8月1日～8月25日のうちの1日を設定する
					・開会行事 ・養護教諭が行うフィジカルアセスメントに関する指導 ・養護教諭が行う食に関する指導 ・救急処置の実際 ・閉会行事	1日	県立教育センター	11月2日	
						計2日			
111	養護教諭中堅教諭等 資質向上研修	センター	教職としての素養 社会性 リーダーとしての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 特別支援教育 ICTや情報・教育データの効果的な利活用 保健室経営 保健管理 保健教育 学校保健組織活動 連携・協働 学校安全 リーダーとしての専門性	養護教諭中堅教諭等に対して、個々の能力、適性に応じた研修を実施し、養護教諭の実践的指導力及び専門性を高めるとともに、学校保健活動を組織的に展開できる能力を育成し、養護教諭としての資質の向上を図る。	・開会行事 ・市町村教育局長講話 ・人権教育の推進について ・コンプライアンス・働き方改革 ・研究テーマ設定	新規採用後10年を経過した養護教諭	1日	県立教育センター	5月25日
					・学習指導要領と保健教育 ・学校の危機管理における養護教諭の役割 ・防災教育と心のケアにおける養護教諭の役割	1日	県立教育センター	8月3日	
					・不登校・保健室登校の児童生徒への対応 ・学校保健マネジメント ・保健管理・保健教育におけるICT活用 ・執務上の課題解決に向けて	1日	県立教育センター	9月5日	
					・特別支援教育 ・社会体験関連研修 ・性的指向・性自認に関する人権	1日	各学校等	9月25日～9月29日のうちの1日を設定する	
					・虐待の早期発見と対応 ・特別支援教育 ・効果的な学校保健委員会の企画と運営 ・学校における救急処置の実際	1日	県立教育センター	11月24日	
					・授業研究・課題研究報告会 ・県立教育センター所長講話 ・閉会行事	1日	県立教育センター	2月6日	
						計6日			
112	新規採用栄養教諭研修	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 学級・学年経営 学校安全 学校給食管理	新規採用の栄養教諭に対して、栄養管理、衛生管理、食に関する指導等に関する研修を実施し、職務遂行に必要な指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を習得させる。	・教育長講話 ・人権教育の推進について ・教育公務員倫理	新規採用栄養教諭全員 2人	1日	各学校等	4月3日～4月10日
					・栄養教諭の職務について ・学校給食の管理について(栄養管理 ) ・学校給食の管理について(衛生管理 ) ・給食の時間における食に関する指導	1日	県庁	5月18日	
					・実地研修(共同調理場の視察)	1日	各教育事務所	6月～9月	
					・防災教育と心のケア ・児童生徒理解 ・コンプライアンス・働き方改革	1日	各学校等	6月14日～7月28日のうちの1日を設定する	
					・地域理解	1日	市町村	5月～10月	
					・学校給食の管理について(栄養管理 ) ・先輩栄養教諭による実践発表 ・学校給食の管理について(衛生管理 )	1日	県庁	6月15日	
					・教科等における食に関する指導 ・個別的な相談指導について ・学校におけるカウンセリング	1日	教育センター	7月14日	
					・実践報告・研修のまとめ ・2年目に向けて	1日	県立教育センター	1月29日	
						計8日			
	栄養教諭2年目研修	センター	教職としての素養 使命感・倫理観 学習指導 生徒指導 特別支援教育 学級・学年経営 学校給食管理	令和3年度(2021年度)新規採用研修を修了した栄養教諭に対して、複数年にわたる段階的育成をとおして、使命感と情熱、学び続ける姿勢等、教員としての資質を高めるとともに、当面する教育課題への対応と実践的指導力の一層の向上を図る。	・栄養教諭2年目の取組について ・学校給食の管理等について ・学校給食の管理等について	令和4年度(2022年度)新規採用栄養教諭研修を修了した3人	1日	県庁	6月5日
					・学校給食の管理等について ・学校給食衛生管理・栄養管理への取組と食育(授業)への取組 ・個別的な相談指導について	1日	県立教育センター	1月23日	
						計2日			
	栄養教諭3年目研修	センター	教職としての素養 使命感・倫理観 学習指導 生徒指導 特別支援教育 学級・学年経営 学校給食管理	令和2年度(2020年度)新規採用研修を修了した栄養教諭に対して、複数年にわたる段階的育成をとおして、使命感と情熱、学び続ける姿勢等、教員としての資質を高めるとともに、当面する教育課題への対応と実践的指導力の一層の向上を図る。	・学校給食の管理について ・生徒指導事例に学ぶ ・学級経営における課題解決に向けて	令和3年度(2021年度)新規採用栄養教諭研修を修了した1人	1日	県立教育センター	7月3日
					・学校給食の管理等について ・学校給食衛生管理・栄養管理への取組と食育(授業)への取組 ・教育センター所長講話	1日	県立教育センター	1月23日	
						計2日			

番号	研修名	所管	資質能力を構成する 主な具体的要素	目的	内容 (はオンライン研修)	対象者 参加人数	日数	会場	日程等
113	栄養教諭5年経験者研修	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 特別支援教育 学校給食管理 学校安全	新規採用5年を経過した栄養教諭に対して、向上期の経験に応じた研修を実施することにより、実践的指導力及び専門性を高めるとともに、職務遂行能力の一層の向上を図る。	・人権教育の推進について ・コンプライアンス・働き方改革 ・防災教育と心のケア ・食に関する指導の現状と課題について ・給食の時間における食に関する指導 ・学校給食におけるリスクマネジメント	新規採用後5年を経過した栄養教諭 7人	1日	各学校等	8月1日～8月22日のうちの1日を設定する
					計2日	1日	県庁	10月13日	
114	栄養教諭中堅教諭等資質向上研修	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 特別支援教育 学校安全 学校給食管理	栄養教諭中堅教諭等に対して、個々の能力・適性に応じた研修を実施し、栄養教諭の実践的指導力及び専門性を高めるとともに、組織的に栄養管理、衛生管理及び食育が展開できる能力を育成し、栄養教諭としての資質の向上を図る。	・人権教育の推進について ・市町村教育局長講話 ・コンプライアンス・働き方改革 ・これまでの振り返りについて、研究テーマ設定	新規採用後10年を経過した栄養教諭 任用替え採用の栄養教諭 9人	1日	県立教育センター	5月25日
					・防災教育と心のケア ・食に関する指導の現状と課題について ・給食の時間における食に関する指導 ・学校給食におけるリスクマネジメント	1日	各学校等	8月1日～8月22日のうちの1日を設定する	
					・教科等における食に関する指導 ・個別的な相談指導について ・相談指導に生かすカウンセリング	1日	県庁	10月13日	
					・特別支援教育研修 ・社会体験関連研修	1日	教育センター	7月14日	
					・実践報告、研修のまとめ ・次年度に向けて ・県立教育センター所長講話	1日	各学校等	9月25日～9月29日のうちの1日を設定する	
					計6日	1日	県立教育センター	2月6日	
115	新規採用教育行政(教育事務)職員研修	学人	教育行政(教育事務)職・人事・人材育成基本方針による	教育庁・小・中・高等学校・特別支援学校の新規採用教育行政職員及び教育事務職員に対して、職員としての自覚を促し使命感を養うとともに、職務遂行に必要な基本的内容に関する研修を行うことで幅広い知見の習得及び資質の向上を図る。	・接遇・地方公務員制度及び不祥事防止・先輩講話 ・グループワーク・人権教育・会計事務・旅費事務 ・給与事務	令和6年度新規採用教育行政(教育事務)職員	5日	県庁	4月4日・5月26日・10月4日・10月5日・2月22日
116	4年目教育行政(教育事務)職員研修	学人	教育行政(教育事務)職・人事・人材育成基本方針による	教育庁・小・中・高等学校・特別支援学校の教育行政職員及び教育事務職員に対して、職務上必要な専門的内容の研修を行うことで、業務を円滑に遂行するための能力を身につけるとともに、主体的に能力開発に取り組む意欲の向上を図る。	・課長講話・障害者差別解消法・人権教育・公務員倫理・不祥事防止・会計事務・先輩講話・給与旅費事務(動画視聴)	令和2年度採用教育行政(教育事務)職員等 約30人	1日	県庁	10月13日
117	7年目教育行政(教育事務)職員研修	学人	教育行政(教育事務)職・人事・人材育成基本方針による	教育庁・小・中・高等学校・特別支援学校の教育行政職員及び教育事務職員に対して、中堅職員としての実践的・専門的な知識の習得及び資質の向上を図る。	・課長講話・障害者差別解消法・人権教育・公務員倫理・不祥事防止・先輩講話・グループワーク(キャリア形成について)	平成29年度採用教育行政(教育事務)職員等 約26人	1日	県庁	9月22日
118	10年目教育行政(教育事務)職員研修	学人	教育行政(教育事務)職・人事・人材育成基本方針による	新規採用後10年目の学校事務職員に対し、中堅職員としての自覚を促すとともに、学校経営を主体的に参画できる様な研修内容とし、中堅職員としての実践的・専門的な知識の習得及び資質の向上を図る。	・課長講話・障害者差別解消法・人権教育・公務員倫理・不祥事防止・会計事務・事務長講話・グループワーク(チームビルディング)	平成26年度採用教育行政(教育事務)職員等 約30人	1日	県庁	9月8日
119	新任学校司書・新任実習教師・新任寄宿舎指導員研修	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 運携・協働	高等学校・特別支援学校の新任の学校司書及び実習教師、寄宿舎指導員に対して、教職員としての自覚を促し使命感を養うとともに、職務遂行に必要な幅広い知見の習得を図る。	・防災教育 ・人権教育の推進	令和5年度採用予定 新任学校司書 0人 新任実習教師 3人 新任寄宿舎指導員 0人 計3人	1日	各学校等	5月19日～5月26日のうちの1日
					【共通】 ・児童生徒理解 ・職務(コンプライアンス・働き方改革含む) 【学校司書】 ・学校図書館運営 【実習教師】 ・専門別研修(工業、農業、理科)・先輩の実践発表、目指す実習教師像 【寄宿舎指導員】 寄宿舎指導員の職務・先輩の実践発表・講話	1日	県立教育センター	5月17日	
120	市町村立学校対象一人一台端末アカウント研修	教政	学習指導 ICTや情報・教育データの効果的な活用	市町村立学校における1人1台端末のアカウント作成や、その効果的な活用方法に関する研修を行い、実践的指導力の向上を図る。	・アカウント作成方法解説 ・トラブルに関する具体的な対処法 ・授業での効果的な活用についての講話	新規採用及び臨時採用で授業に関わる全教員 異動に伴い、アカウント種別が変更になる全教員	計2日 1日	職場・自宅	未定
121	県立学校対象生徒・教員グループアカウント研修	教政	学習指導 ICTや情報・教育データの効果的な活用	県立学校における1人1台端末のアカウント作成や、その効果的な活用方法に関する研修を行い、実践的指導力の向上を図る。	・オンラインのウェブ研修コースで実施 ・アカウント作成方法解説 ・トラブルに関する具体的な対処法 ・授業での効果的な活用についての講話	新規採用及び臨時採用で授業に関わる全教員	1日	職場・自宅	未定
122	GoogleWorkspaceタブレット端末操作研修(高等学校)	教政	学習指導 ICTや情報・教育データの効果的な活用	県立高等学校における、1人1台のタブレット端末を活用した授業づくりの基礎の習得を図る。	・県立学校対象の集合研修 ・1人1台端末を使った事例紹介及び講話 ・授業場面を想定した操作体験 ・1人1台端末を活用した授業プラン作り(授業での活用・管理運用)	各学校の情報担当者	2日	県立学校	未定
123	GIGAスクール構想における学びに関する研修	教政	学習指導 ICTや情報・教育データの効果的な活用	GIGAスクール構想における1人1台端末環境での学びを充実させるため、教師のICT活用指導力の向上を図る。	・オンラインのウェブ研修コースで実施 ・GIGAスクール構想における学びの概要 ・1人1台端末環境下での学びについて ・情報モラル教育について	新規採用及び臨時採用で授業に関わる全教員	1日	職場・自宅	未定



【専門研修＜管理職等研修＞】

番号	研修名	所管	実質能力を構成する 主な具体的要素	目的	内容 (はオンライン研修)	対象者 参加人数	日数	会場	日程等
201	小中義務教育学校新任管理職(校長・副校長)研修	センター	校長としての素養 使命感・倫理観 教員の指導力育成 学校経営 管理運営 人材育成 学校外との連携	校長としての自覚と使命感を高めるとともに、学校の課題に的確に対応できる管理運営能力の向上を図る。	・講話「新任校長に望むこと」; ・講話「学校CIO」; ・講話「企業経営に学ぶ」; ・講義・演習「人事管理」;  希望選択(下記選択研修より1つ選択) ・学校マネジメント研修「リスクマネジメント編」 ・学校マネジメント研修「組織づくり・人材育成編」 ・学校マネジメント研修「学校課題解決編」 ・学校マネジメント研修「組織変革ファシリテーション編」  ・学校マネジメント研修「リーダーシップ編」 ・学校マネジメント研修「働き方改革編」	熊本市を除く市町村立小・中・義務教育・特別支援学校に採用された校長・副校長全員	1日	・(まもと県民交流会館パレア)	5月11日
							1日	・水前寺共済会館(6月29日、9月15日、9月20日) ・(まもと県民交流会館パレア(7月3日)) ・各勤務校(7月7日、9月6日)	左記のとおり
202	小中義務教育学校管理職(2年目校長・副校長)研修	センター	校長としての素養 使命感・倫理観 教員の指導力育成 学校経営 管理運営 人材育成 学校外との連携	2年目校長・副校長として、1年目の取組を踏まえ、課題解決、危機管理、人材育成等でのマネジメント力を更に高め、校長・副校長の管理運営能力の向上を図る。	希望選択(下記選択研修より1つ選択) ・学校マネジメント研修「リスクマネジメント編」 ・学校マネジメント研修「組織づくり・人材育成編」 ・学校マネジメント研修「学校課題解決編」 ・学校マネジメント研修「組織変革ファシリテーション編」  ・学校マネジメント研修「リーダーシップ編」 ・学校マネジメント研修「働き方改革編」	熊本市を除く市町村立小・中・義務教育・特別支援学校及び県立中学校の採用2年目校長・副校長全員	1日	・水前寺共済会館(6月29日、9月15日、9月20日) ・(まもと県民交流会館パレア(7月3日)) ・各勤務校(7月7日、9月6日)	左記のとおり
							計2日		
203	県立学校新任管理職(校長)研修	センター	校長としての素養 使命感・倫理観 教員の指導力育成 学校経営 管理運営 人材育成 学校外との連携	校長としての自覚と使命感を高めるとともに、学校の課題に的確に対応できる管理運営能力の向上を図る。	・講話「新任校長に望むこと」; ・講話「学校CIO」; ・講話「企業経営に学ぶ」; ・講義・演習「人事管理」;  希望選択(下記選択研修より1つ選択) ・学校マネジメント研修「リスクマネジメント編」 ・学校マネジメント研修「組織づくり・人材育成編」 ・学校マネジメント研修「学校課題解決編」 ・学校マネジメント研修「組織変革ファシリテーション編」  ・学校マネジメント研修「リーダーシップ編」 ・学校マネジメント研修「働き方改革編」	県立の高等学校・特別支援学校の新任教長全員	1日	・(まもと県民交流会館パレア)	5月11日
							1日	・水前寺共済会館(6月29日、9月15日、9月20日) ・(まもと県民交流会館パレア(7月3日)) ・各勤務校(7月7日、9月6日)	左記のとおり
204	県立学校管理職(2年目校長)研修	センター	校長としての素養 使命感・倫理観 教員の指導力育成 学校経営 管理運営 人材育成 学校外との連携	2年目校長として、1年目の取組を踏まえ、課題解決、危機管理、人材育成等でのマネジメント力を更に高め、校長の管理運営能力の向上を図る。	希望選択(下記選択研修より1つ選択) ・学校マネジメント研修「リスクマネジメント編」 ・学校マネジメント研修「組織づくり・人材育成編」 ・学校マネジメント研修「学校課題解決編」 ・学校マネジメント研修「組織変革ファシリテーション編」  ・学校マネジメント研修「リーダーシップ編」 ・学校マネジメント研修「働き方改革編」	県立の高等学校・特別支援学校の採用2年目校長全員	1日	・水前寺共済会館(6月29日、9月15日、9月20日) ・(まもと県民交流会館パレア(7月3日)) ・各勤務校(7月7日、9月6日)	左記のとおり
							計2日		
205	小中義務教育学校新任管理職(教頭)研修	センター	副校長・教頭としての素養 使命感・倫理観 教員の指導力育成 学校経営 管理運営 人材育成 学校外との連携	教頭としての自覚と使命感を高めるとともに、学校の課題に的確に対応できる管理運営能力の向上を図る。	第1回研修 ・講話「本県教育の課題と管理職の在り方」; ・講話「教職員のメンタルヘルス」; ・講義・演習「人事管理」;  第2回研修 ・講話「人権教育の推進」; ・講話「学校マネジメント組織編」; ・講話「学校マネジメント防災教育と心のケア編」; ・講話「社会に開かれた教育課程」;	熊本市を除く市町村立小・中・義務教育・特別支援学校及び県立中学校に採用された教頭全員	1日	・(まもと県民交流会館パレア)	5月16日
							1日(2週間の期間内)	各勤務校	6月5日～6月16日
206	小中義務教育学校管理職(2年目教頭)研修	センター	副校長・教頭としての素養 使命感・倫理観 教員の指導力育成 学校経営 管理運営 人材育成 学校外との連携	2年目教頭として、1年目の取組を踏まえ、課題解決、危機管理、人材育成等でのマネジメント力を更に高め、校長の学校運営を確実に補佐できる管理運営能力の向上を図る。	希望選択 ・学校マネジメント研修「リスクマネジメント編」 ・学校マネジメント研修「組織づくり・人材育成編」 ・学校マネジメント研修「学校課題解決編」 ・学校マネジメント研修「組織変革ファシリテーション編」  ・学校マネジメント研修「リーダーシップ編」 ・学校マネジメント研修「働き方改革編」	熊本市を除く市町村立小・中・義務教育・特別支援学校及び県立中学校の採用2年目教頭全員	1日	・水前寺共済会館(6月29日、9月15日、9月20日) ・(まもと県民交流会館パレア(7月3日)) ・各勤務校(7月7日、9月6日)	左記のとおり
							計2日		
207	県立学校新任管理職(教頭)研修	センター	副校長・教頭としての素養 使命感・倫理観 教員の指導力育成 学校経営 管理運営 人材育成 学校外との連携	教頭としての自覚と使命感を高めるとともに、学校の課題に的確に対応できる管理運営能力の向上を図る。	第1回研修 ・講話「本県教育の課題と管理職の在り方」; ・講話「教職員のメンタルヘルス」; ・講義・演習「人事管理」;  第2回研修 ・講話「人権教育の推進」; ・講話「学校マネジメント組織編」; ・講話「学校マネジメント防災教育と心のケア編」; ・講話「社会に開かれた教育課程」;	県立の高等学校・特別支援学校の新任教頭全員	1日	・(まもと県民交流会館パレア)	5月16日
							1日(2週間の期間内)	各勤務校	6月5日～6月16日
208	県立学校管理職(2年目教頭)研修	センター	副校長・教頭としての素養 使命感・倫理観 教員の指導力育成 学校経営 管理運営 人材育成 学校外との連携	2年目教頭として、1年目の取組を踏まえ、課題解決、危機管理、人材育成等でのマネジメント力を更に高め、校長の学校運営を確実に補佐できる管理運営能力の向上を図る。	希望選択 ・学校マネジメント研修「リスクマネジメント編」 ・学校マネジメント研修「組織づくり・人材育成編」 ・学校マネジメント研修「学校課題解決編」 ・学校マネジメント研修「組織変革ファシリテーション編」  ・学校マネジメント研修「リーダーシップ編」 ・学校マネジメント研修「働き方改革編」	県立の高等学校・特別支援学校の採用2年目教頭全員	1日	・水前寺共済会館(6月29日、9月15日、9月20日) ・(まもと県民交流会館パレア(7月3日)) ・各勤務校(7月7日、9月6日)	左記のとおり
							計2日		
209	小中義務教育学校新任主幹教諭研修	センター	教諭としての素養 社会性 リーダーとしての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学校経営 連携・協働 学校安全 リーダーとしての専門性	組織における主幹教諭の果たすべき役割を学ぶことで、職務遂行の意識を高め、校長や教頭の補佐、調整、人材育成、指導監督等の資質・能力の向上を図る。	・講話「人権教育の推進」; ・講話「防災マネジメント」; ・講義・演習「職務・校務運営」;	熊本市を除く市町村立小・中・義務教育・特別支援学校及び県立中学校の新任教諭全員	1日	各勤務校	6月20日
210	県立学校新任主幹教諭研修	センター	教諭としての素養 社会性 リーダーとしての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学校経営 連携・協働 学校安全 リーダーとしての専門性	組織における主幹教諭の果たすべき役割を学ぶことで、職務遂行の意識を高め、校長や教頭の補佐、調整、人材育成、指導監督等の資質・能力の向上を図る。	・講話「人権教育の推進」; ・講話「防災マネジメント」; ・講義・演習「職務・校務運営」;	県立の高等学校・特別支援学校の新任教諭全員	1日	各勤務校	6月20日

番号	研修名	所管	資質能力を構成する 主な具体的要素	目的	内容 (はオンライン研修)	対象者 参加人数	日数	会場	日程等
211	県立学校新任事務長 研修	センター	教職としての素養 使命感・倫理観 学校経営 管理運営 人材育成 学校外との連携	事務長としての自覚と使命感を高めるとも に、学校の課題に的確に対応できる管理 運営能力の向上を図る。	第1回研修 ・講話「本県教育の課題と管理職の在り方」 ・講話「教職員のメンタルヘルス」 ・講義・演習「人事管理」	県立の高等学 校・特別支援 学校の新任事 務長全員	1日	くまもと県民交流館ハレ ア	5月16日
					第2回研修 ・講話「人権教育の推進」 ・講話「学校マネジメント組織編」 ・講話「学校マネジメント防災教育と心のケア編」		1日(2 週間の 期間内) 計2日		各勤務校
212	小中義務教育学校新 任事務長研修	センター	教職としての素養 使命感・倫理観 学校経営 管理運営 人材育成 学校外との連携	事務長としての自覚と使命感を高めるとも に、学校の課題に的確に対応できる管理 運営能力の向上を図る。	第1回研修 ・講話「本県教育の課題と管理職の在り方」 ・講話「教職員のメンタルヘルス」 ・講義・演習「人事管理」	熊本市を除く 市町村立小・ 中・義務教育・ 特別支援学校 の新任事務長 全員	1日	くまもと県民交流館ハレ ア	5月16日
					第2回研修 ・講話「人権教育の推進」 ・講話「学校マネジメント組織編」 ・講話「学校マネジメント防災教育と心のケア編」		1日(2 週間の 期間内) 計2日		各勤務校
213	学校CIO(管理職)研修	教政	教員の指導力育成	教育の情報化について、学校のリーダーと しての自覚や、具体的な取組についての幅 広い知見の習得を図る。	新任校長に対しては集合研修 ・教育の情報化についての講話 ・先進的事例の紹介及び講話 ・授業での活用事例 ・自校の学校情報化に関する取組紹介等	新規採用管理 職(全員)	2日	職場・自宅	未定
214	教職員人事評価制度 に係る評価者研修	学人	リーダーとしての素養 リーダーとしての専門性	評価者が教職員の能力や実績を適正に評 価できるようにすること。	講師による研修(演習・解説・講義等) 予定 ・人事評価制度の仕組み ・業績評価、能力評価の考え方と進め方 ・面接の進め方 ・評価の原則	市町村立学 校、県立学 校の校長、副校 長、教頭、事 務長	1日	各学校等	4月17日～21日
215	特別支援教育小中義 務教育学校管理職研 修	特支	管理職としての素養 使命感・倫理観 特別支援教育 学校としての連携・協働 管理職としての専門性	発達障がい等障がいのある児童生徒の特 性及び支援に対する小・中学校の管理職の 理解・啓発を図り、校内における特別支援 教育の支援体制の充実を図る。	国や県の特別支援教育に関する現状及び支援体制の 充実等についての説明	小・中・義務教 頭全員	1日	未定	未定
216	認定こども園・幼稚園・ 保育所等園長等研修	義務	園長としての素養 使命感・倫理観 教員の指導力育成 学校経営 管理運営 人材育成	認定こども園・幼稚園・保育所等の園長等 に対して、熊本県の幼児教育の充実につ いて専門的な講話や研究協議等を行い、園長 等の見識を高め、就学前教育の振興・充実を 図る。	・就学前教育の取組の方向 ・講話 ・協議・演習	認定こども園・ 幼稚園・保育 所等の園長 200人	半日	県庁地下大会議室	6月13日
217	認定こども園・幼稚園・ 保育所等教頭・主任等 研修	義務	教頭としての素養 使命感・倫理観 教員の指導力育成 学校経営 管理運営 人材育成	認定こども園・幼稚園・保育所等の教頭・ 主任等に対して、熊本県の幼児教育の充実 について専門的な講話や研究協議等を行 い、教頭・主任等の見識を高め、就学前 教育の振興・充実を図る。	・県の取組や子供の育ちの状況について ・講話 ・「幼児教育担当指導主事・担当者会」報告 ・協議・演習	認定こども園・ 幼稚園・保育 所等の教頭・ 主任等 250人	1日	県庁地下大会議室	7月12日
218	校長人権教育推進会 議	人同	校長としての素養 使命感・倫理観 教員の指導力育成 学校経営 管理運営 人材育成 学校外との連携	「人権尊重の精神に立った学校づくり」に向 け、人権教育の充実・深化を図るため、校長 の人権の意義や内容・重要性の理解及び 様々な人権問題についての基本的認識を深 めるとともに、自校の人権教育推進上の課 題解決に向けた取組に資する。	・講話 ・行政説明 ・協議	公立小中 学 校・義務教 育学校・県立 学 校の校長  約450人	半日	市民会館シアーズホー ム夢ホール(熊本市民 会館)	6月13日
研修番号201～204の受講者は、下記の研修から必ず一つ選択して受講する(悉皆選択)。206・208の受講者は、希望があれば一つ選択して受講する(希望選択)。受講枠に余りがある場合、その他の希望者の受講可。									
219	学校マネジメント研修 「リスクマネジメント編」	センター	教職としての素養 社会性 リーダーとしての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学校経営 ICTや情報・教育データ の効果的な活用 連携・協働 学校安全 リーダーとしての専門性	「今日、学校教育をめぐる多様化・複雑化・ 高度化する課題に対して、学校の組織的な 危機管理、課題解決能力の強化を図る。特 に重大事案発生時の対応力を身につける。	・講義・演習「学校のリスクマネジメント・報道資料作成」 ・演習・協議・講義「記者会見ロールプレイ」具体的な未然 防止対策の検討	小・中・義務教 育学校・高・特 校長・副校長・ 教頭・事務長・ 主幹教諭・事 務主査・事務 主任 40人	1日	水前寺共済会館	6月29日
220	学校マネジメント研修 「組織づくり・人材育成 編」	センター	教職としての素養 社会性 リーダーとしての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学校経営 ICTや情報・教育データ の効果的な活用 連携・協働 学校安全 リーダーとしての専門性	コミュニケーションを密にし、協働意識を高 める手法を学ぶことで、職場づくりの力や人 材育成能力の向上を図る。	・講義・協議・演習「職場づくりと人材育成」 ・講義・協議・演習「幸せな職場のつくり方」	小・中・義務教 育学校・高・特 校長・副校長・ 教頭・事務長・ 主幹教諭・事 務主査・事務 主任 40人	1日	くまもと県民交流館ハレ ア	7月3日

番号	研修名	所管	資質能力を構成する 主な具体的要素	目的	内容 ( <u>はオンライン研修</u> )	対象者 参加人数	日数	会場	日程等
221	学校マネジメント研修 "学校課題解決編"	センター	教職としての素養 社会性 リーダーとしての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学校経営 ICTや情報・教育データの 効果的な利活用 連携・協働 学校安全 リーダーとしての専門性	今日、学校教育を巡る多様化・複雑化・高度化する課題に対して、各種事例を通して学校の組織的な課題解決能力の強化を図る。	・講義・協議・演習「クレーム対応スキル」 ・講義・協議・演習「対人関係形成スキル」	小・中・義務教育学校・高・特 校長・副校長・ 教頭・事務長・ 主幹教諭・事務 主任 40人	1日	各勤務校	7月7日
222	学校マネジメント研修 "組織変革ファシリテーション編"	センター	教職としての素養 社会性 リーダーとしての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学校経営 ICTや情報・教育データの 効果的な利活用 連携・協働 学校安全 リーダーとしての専門性	組織の中で解を共創造する場をファシリテーションしていくスキルや、企業の組織変革のノウハウを学ぶことで、組織の活性化を進める能力を育成する。	・講義・演習「組織変革ファシリテーション」 ・演習「ファシリテーションの実際」	小・中・義務教育学校・高・特 校長・副校長・ 教頭・事務長・ 主幹教諭・事務 主任 40人	1日	各勤務校	9月6日
223	学校マネジメント研修 "リーダーシップ編"	センター	教職としての素養 社会性 リーダーとしての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学校経営 ICTや情報・教育データの 効果的な利活用 連携・協働 学校安全 リーダーとしての専門性	管理職として、より効果的な人材育成の手法を学び、組織の活性化を進める。部下職員から信頼されるリーダーの資質や、部下職員を円滑に動かす手法を学び、人材育成を通して組織の活性化を進める能力を育成する。	・講義・協議「未来を創るリーダーシップ」 ・講義・協議「ひとつりとチームづくり」	小・中・義務教育学校・高・特 校長・副校長・ 教頭・事務長・ 主幹教諭・事務 主任 40人	1日	水前寺共済会館	9月15日
224	学校マネジメント研修 "働き方改革編"	センター	教職としての素養 社会性 リーダーとしての素養 使命感・倫理観 連携・協働 学校経営 ICTや情報・教育データの 効果的な利活用 連携・協働 学校安全 リーダーとしての専門性	社会環境の変化に対応した新しい学校づくりのために求められる組織マネジメントの理論を踏まえ、ワーク・ライフ・バランスと業務改善を進めていく方策を学ぶ。	・講義・協議・演習「学校における働き方改革の現状・課題」 ・講義・協議・演習「働き方を見つめ直すポイント、必要なアクション」	小・中・義務教育学校・高・特 校長・副校長・ 教頭・事務長・ 主幹教諭・事務 主任 40人	1日	水前寺共済会館	9月20日

[専門研修<担当者研修>]

番号	研修名	所管	資質能力を構成する 主な具体的要素	目的	内容 (はオンライン研修)	対象者 参加人数	日数	会場	日程等
301	熊本県学校支援チーム 隊員研修	教政	教職としての素養 社会性・倫理観 使命感・倫理観 組織における連携・協働 生徒指導 連携・協働 学校安全 リーダーとしての専門性	大規模災害発生時及び平時における熊本 県学校支援チームの活動に必要な指導力 及び技術力を身に付けた隊員を養成する。 また、既に隊員登録されている者について は、知識技能を更新し、隊員に必要な指導 力及び技術力の保持・向上を図る。	【初級】 ・県内大規模災害発生時の教育庁組織体制と学校支援 チーム ・熊本県学校支援チーム及び「学校再開と心のケアハ ンドブック」 ・防災教育の基礎知識 ・防災教育の実践 ・心のケアの基礎知識	小・中・義・高・ 特の教職員 県教育庁職員 (60人予定)	半日	各所属等	6月中旬～7月上旬
					【中級】 ・災害時の学校対応 ・隊員としての心構え ・被災地支援の実際・派遣に備えて	熊本県学校支 援チーム隊員 (50人予定)	1日	水前寺共済会館	9月22日
					【中級】 ・平時の防災教育 ・気象に関する基礎知識 ・河川に関する基礎知識	熊本県学校支 援チーム隊員 (50人予定)	半日	各所属等	8月中旬～9月下旬
					【上級】 ・心のケアと被災地支援 ・被災地支援の実際 ・熊本県の防災体制	熊本県学校支 援チーム隊員 (30人予定)	1日	県庁	11月10日
302	市町村立学校情報モ ラル研修会	教政	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 ICTや情報・教育データ の効果的な利活用 学校安全 リーダーとしての専門性	情報化の進展に伴う新たな課題に対して、 市町村立学校における情報モラルに関する 指導の充実を図る。	・有識者による情報モラル・情報安全についての講話 ・情報モラル情報安全についての授業プラン作り ・1人1台端末活用時の留意点・管理運用	市町村立学校 小・中情報担 当等 60人	半日	各勤務校	未定
303	県立学校情報モラル研 修会	教政	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 ICTや情報・教育データ の効果的な利活用 学校安全 リーダーとしての専門性	情報化の進展に伴う新たな課題に対して、 県立学校における情報モラルに関する指導 の充実を図る。	・有識者による情報モラル・情報安全についての講話 ・情報モラル情報安全についての授業プラン作り ・1人2台端末活用時の留意点・管理運用	県立中、高 (全・定・通)、 特支情報担当 等 90人	半日	各勤務校	未定
304	県立高等学校新任教 務主任研修	高校	教職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 学校経営	新任の教務主任に対し、その職務に関す る基本的な事項について研修を行い、教務 主任としての資質の向上を図る。	・関係法規・新高等学校学習指導要領(平成30年3月告 示)、熊本県教育関係者必修、教育課程編成の手引(令 和2年3月及び平成24年1月)に関する研修。 ・教務主任の実務に関する事例研究。	県立高等学校 新任教務主任	半日	県庁会議室	5月1日
305	特別支援学級担当者 指導力向上研修	特支	教職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 特別支援教育	特別支援学級を担当する教員を対象とし て、特別支援学級の教育課程編成に関する 基礎的・基本的内容の講義や自立活動の指 導に関する演習を取り入れた実践的な研修 等を実施し、指導力の向上と支援体制の充 実を図る。	・障がいのある児童生徒の理解と支援 ・一人一人の教育的ニーズに応じた支援 ・教育課程の編成 ・自立活動の実際	小中義務教育 学校の特別支 援学級の担当 者	延べ3日	各教育事務所等、特別 支援学校及び所属の小 中学校	・外部講師による講話 ・特別支援学校におけ るカリキュラム・マネジ メントの実践報告 ・グループ協議
306	特別支援学校医療的 ケア教員研修	特支	学習指導 生徒指導 特別支援教育 学校安全	医療的ケアが必要な児童生徒に対して、 教員が喀痰吸引等の一部を看護士の指導 の下、安全かつ適切に実施するため、内容 や方法・具体的技法について研修を深め、 実践的指導力の向上を図る。	・基本研修(講義・演習)	医療的ケア実 施予定の教 諭・講師等	2日	黒石原支援学校	7月28～29日
307	特別支援学校ICT活用 研修会	特支	学習指導 生徒指導 特別支援教育 ICTや情報・教育データ の効果的な利活用	ICTを活用した先進的な取組について情報 提供することを通して、ICTの活用方法や授 業への効果についての理解を深め、ICTを 積極的に活用した授業を実践する力の向上 を図る。	・ICT機器の特徴や機能の理解 授業での活用事例 ・ICTを活用した授業設計 ・模擬授業  ICTを活用した授業設計、模擬授業はコース別に分けて 実施	県立特別支援 学校の学級 各1人	1日	未定	8月19日
308	特別支援学校技能検 定担当者研修会	特支	学習指導 生徒指導 特別支援教育	特別支援学校の職業教育充実のための、 熊本県特別支援学校技能検定に係る取組 の充実及び教員の指導力の向上並びに審 査員としての知識技能を習得する。	・研修「指導書及び評価表についての共通理解」 ・実技研修	県立特別支援 学校の学級 各1人	半日	熊本県立盲学校共同教 室	8月に実施予定
309	教務主任研修(特別支 援学校)	特支	教職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 特別支援教育	教務主任に対し、特別支援教育の動向や 特別支援学校の学習指導要領に関する説 明及び教育課程編成等について協議等を行 うことで、特別支援学校等における教育の改 善及び充実を図る。	・外部講師による講話 ・特別支援学校におけるカリキュラム・マネジメントの実践 報告 ・グループ協議	県立特別支援 学校の学級 各1人	1日	未定	6月14日
310	学部主事等研修会	特支	教職としての素養 組織における連携・協働 特別支援教育	特別支援学校の今日的課題への具体的な 対応や学部主事等としての自覚や在り方 について協議等を行うことを通じ、特別支援学 校の学部主事等の資質向上を図り、本県特 別支援教育の充実・発展に資する。	・講話(学部主事に期待することなど) ・説明(特別支援教育推進上の県の施策など) ・協議	県立特別支援 学校の学部主 事等約70人	1日	未定	8月に実施
311	特別支援教育実践スキ ルアップ研修(特別支 援学校)	特支	教職としての素養 使命感・倫理観 学習指導 特別支援教育	障害の状態や特性及び心身の発達段階 等を十分把握して、自立活動の指導等に 反映できる幅広い知識・技能を習得する。	自立活動等の基礎と実践研究 心身の発達についての理解	県立特別支 援学校の教諭・ 講師	4日	各学校	5月 8月 11月 2月
312	防災主任研修会	学安	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 生徒支援 特別支援教育 学校経営 連携・協働 学校安全 リーダーとしての専門性	熊本地震から学んだ貴重な経験を生か し、「自助」「共助」のために主体的に行動で きる児童生徒を育成するための防災教育の 充実を図るとともに、今後も想定される自然 災害から児童生徒の命を守り抜くための教 職員の災害対応能力向上や学校防災体制 のさらなる強化を目的とする。	・行政説明 ・講演 ・演習 ・協議	小・中・義務教 育学校、高等 学校、特別支 援学校(防災 主任) 熊本県庁 約500人	半日	球磨地域振興局 芦北地域振興局 八代地域振興局 宇城総合庁舎 天草教育会館 熊本県庁 七城公民館 阿蘇地域振興局 玉名市民会館	5月16日(球磨) 5月18日(芦北) 5月23日(八代) 5月30日(宇城) 5月31日(天草) 6月1日(上益城) 6月6日(菊池・山鹿) 6月8日(阿蘇) 6月13日(玉名)

番号	研修名	所管	資質能力を構成する 主な具体的要素	目的	内容 (はオンライン研修)	対象者 参加人数	日数	会場	日程等
313	防災教育に関する研修会	学安	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 生徒支援 特別支援教育 学校経営 連携・協働 学校安全 リーダーとしての専門性	学校での防災教育の在り方やその指導方法を学び、各学校の防災教育の充実を図る。	・行政説明 ・講演 ・模擬授業 ・協議	球磨管内 宇城管内 小・中、高等 学校、特別支 援学校(防災 主任) 80名程度	半日	球磨管内または宇城管内の学校	8月後半
314	県立学校教育相談担当者連絡会	学安	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 生徒指導 児童生徒支援	いじめや不登校をはじめとする生徒指導上の諸課題の解決に資するため、教育相談におけるカウンセリングマインドに関する研修を行い、教育相談事業の効果的な推進を図る。	・いじめ・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要説明 ・教育相談に関する状況やSC・SSWの活用に関する状況説明 ・教育相談基幹研修の復講及び各校の事例紹介等	県立学校(教育相談担当者) 80人	半日	各学校等	6月8日
315	学校安全教室講習会	学安	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 生徒指導 特別支援教育 連携・協働 学校安全	学校における安全教室(交通安全、生活安全、災害安全)の充実を図るため、担当者の資質向上を図る。	・行政説明 ・講演 ・協議	小・中・義務教育 学校、高等・特別 支援学校の学校 安全担当者 約450人	半日	県立劇場演劇ホール	7月6日
316	県立学校生徒指導担当者連絡会	学安	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 生徒指導 児童生徒支援	いじめや不登校をはじめとする生徒指導上の諸課題の解決に資するため、生徒指導主事を対象にいじめや生徒指導の問題行動への対応に関する研修を行い、生徒指導の実践的指導力の向上を図る。	・いじめ・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要説明 ・生徒指導指導者養成研修(中央研修)の復講や生徒指導に関する講話等 ・生徒の問題行動への指導の手引きについて ・校則の見直しについて	県立学校(生徒指導担当) 約80人	半日	各学校等	4月27日
317	情報集約担当者研修会	学安	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 生徒指導	県内各学校で発生しているいじめの問題等に関して、その未然防止や早期対応等について、令和2年11月に規定した「情報集約担当者」等の理解を深め、諸課題の解決等へ繋げるため。	・現状報告 ・事例研究 ・行政説明	小・中・義務教育 学校、高等 学校、特別支 援学校(情報 集約担当者 等) 約500人	半日	各学校等	4月28日
318	生徒指導担当者研修	学安	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 生徒指導 児童生徒支援	増加する不登校等の生徒指導上の諸課題の解決に資するため、生徒指導主事を対象に不登校や生徒指導の問題行動への対応に関する研修を行い、生徒指導の実践的指導力の向上を図る。	・現状報告 ・行政説明	小・中・義務教育 学校、高等 学校、特別支 援学校(情報 集約担当者 等) 約500人	半日	各学校等	
319	健康教育担当者研修会	体育	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 学習指導 生徒指導	健康教育の当面的課題と保健主事等の職務について理解を深め、各学校における健康教育の充実推進を図る。	・保健教育、保健管理、学校給食・食育指導の推進について ・有識者講演及びシンポジウム ・グループワーク	小・中・義務教育 学校、高等・特別 支援学校の健康 教育担当者 約500人	1日	市民会館シアーズホーム夢ホール	6月30日
320	高等学校等体育主任会	体育	社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 特別支援教育 学校安全	学校体育に関する施策や諸問題について研修を深め、本県の学校体育・スポーツの充実・発展と体育主任の資質向上を図る。	・行政説明 ・講話 ・グループワーク	高等・特別支 援学校の体育 主任 約100人	半日	県庁地下大会議室	4月20日
321	認定こども園・幼稚園・保育所等熊本県研究協議会	義務	教職としての素養 社会性 リーダーとしての素養 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 学級・学年経営 学校経営 連携・協働 リーダーとしての専門性	幼児教育の理解・発展推進事業の協議主題に基づいた実践発表及び研究協議を行うことにより、日頃の実践を振り返り、今後の教育・保育の充実・改善を図り、本県の就学前教育の振興・充実に資する。	・講話 ・実践発表・協議	認定こども園・ 幼稚園・保育 所等の教職員 200人	1日	県庁地下大会議室 テルサ	8月24日
322	幼・保等、小、中連携セミナー	義務	教職としての素養 学習指導 生徒指導 学級・学年経営 連携・協働 学校外との連携	幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校等の関係者が合同で研修することにより、お互いの教育機能を理解し合うとともに、地域の実態に応じた連携の充実を図る。	・行政説明 ・研修 ・演習(幼・保等と小学校、中学校の接続について、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の共有)	認定こども園・ 幼稚園・保育 所・地域型保 育事業所の園 (所)長、保育 教諭・幼稚園 教諭・保育士 等 小中学校等代 表	半日	県内各会場	7月～10月
323	小中学校キャリア教育研修会	義務	社会性 組織における連携・協働 学習指導 学級・学年経営 学校経営	キャリア教育の推進における課題を解決するため、説明、研究授業、研究協議等を行い、キャリア教育の充実に資する。	・講話 ・実践発表 ・授業参観(キャリア教育の視点からの授業改善) ・協議	小中学校キャ リア教育担当 者等 教諭376人 行政関係42人	半日(3h 程度)	庁舎、市町内施設等	6月～10月
324	英語授業づくりプロジェクト	義務	学習指導 リーダーとしての専門性	英語担当教員が協働的に授業改善を図る体制の構築及び各地域の英語教育を推進するリーダーを育成する。 英語担当教員の主体的な学び合いによる指導力向上及び児童生徒の英語力向上を図る。	・リーダーへの研修(年間2回) ・事業説明、授業内容についての協議 ・年間の振り返り、次年度に向けた協議等 ・授業についての検討及び公開授業(年間2回) ・協議に基づく授業実践、公開、検証	小中学校英語 担当教員	リーダー 研修2日 公開授 業等2日	県庁、各管内会場	5月～12月
325	JETプログラム外国語指導助手の指導力等向上研修	義務	学習指導	外国語指導助手(ALT)及び英語担当教員が、英語教育についての理解を深め、効果的かつ適正な職務遂行を行うために必要な知識等を習得する。	・演習 ・協議 ・パネルディスカッション	外国語指導助 手 小・中・高等学 校の英語担当 教員 約200人	2日	ホテル熊本テルサ	11月30日 12月1日

番号	研修名	所管	資質能力を構成する 主な具体的要素	目的	内容 (はオンライン研修)	対象者 参加人数	日数	会場	日程等
326	道徳教育パワーアップ 地区別研修会	義務	教職としての素養 組織における連携・協働 使命感・倫理観 学習指導 学級・学年経営 学校経営 連携・協働 リーダーとしての素養	教職経験10年前後の教諭等を対象として、講話、演習や実践発表等を実施し、道徳科の充実を図る。 道徳教育推進教師を対象として講話や実践発表を実施し道徳教育の充実を図る。	・行政説明 ・講話 ・演習 ・実践発表等 ・模擬授業 ・講話 ・実践発表	教職経験10年前後の教諭等1名参加 道徳教育推進教員	半日	各教育事務所等 一部オンライン	7月～10月
327	日本語教育支援連絡 協議会	義務	学習指導 連携・協働	日本語指導が必要な児童生徒の適切な受け入れ対応や、日本語指導の方法等、支援体制の充実に資する。	・行政説明 ・外部講師を招聘しての講話 ・班別演習及び協議	各教育事務所、関係各市町村教育委員会担当者、関係学校担当者	半日	県庁又は周辺施設	11月2日
328	新任人権教育主任講習	人同	教職としての素養 社会性 リーダーとしての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 特別支援教育 学校経営 連携・協働 学校安全 リーダーとしての専門性	「人権尊重の精神に立った学校づくり」の推進に向けて、人権教育主任として必要な業務や知識を理解し、人権教育の推進体制の要としての自覚を高め、資質及び実践的な指導力の向上を図る。	・行政説明 ・演習	公立小中学校・義務教育学校・県立学校の新任人権教育主任 約100人	1時間程度	各学校等	4月～5月
329	公立小中学校・義務教育学校人権教育主任 研修会	人同	教職としての素養 社会性 リーダーとしての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 特別支援教育 学校経営 連携・協働 学校安全 リーダーとしての専門性	「人権尊重の精神に立った学校づくり」の推進に向け、行政説明及び演習・協議等を通して、人権教育主任の資質及び実践的な指導力の向上を図る。	・行政説明 ・演習 ・協議	公立小中学校・義務教育学校の人権教育主任	半日	各教育事務所管内	5月～6月
330	県立学校人権教育主任 研修	人同	教職としての素養 社会性 リーダーとしての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 特別支援教育 学校経営 連携・協働 学校安全 リーダーとしての専門性	「人権尊重の精神に立った学校づくり」の推進に向け、これまでの取組の成果と課題を基に今後の人権教育推進に係る方向性等について理解を深め、研修及び協議等を通して、人権教育担当者としての指導力の向上を目指す。	・講演 ・行政説明 ・協議	県立学校(県立中学校を除く)の人権教育主任 約80人	半日	市民会館シアーズホーム夢ホール(熊本市民会館)	6月13日
331	担当指導主事等研修 会	人同	教職としての素養 社会性 リーダーとしての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 特別支援教育 学校経営 連携・協働 学校安全 リーダーとしての専門性	「人権尊重の精神に立った学校づくり」の推進に向け、これまでの取組の成果と課題を基に今後の人権教育推進に係る方向性等について理解を深め、研修及び協議等を通して、人権教育担当者としての指導力の向上を目指す。	・行政説明 ・演習 ・協議	各教育事務所指導主事、市町村教育委員会人権教育担当者等 約25人	半日 計1日	嘉島町民会館 県庁	4月7日(第1回) 9月4日(第2回)
332	学校事務センター給 与・旅費グループ長及 び共同実施主任研修	学人	教育行政(教育事務)職 人事・人材育成基本方針による	次期リーダーとしての役割と職務についての理解を深め、実践的指導力の養成や資質の育成を図る。	・講話「コーチングの在り方」 ・講話「リーダーの在り方」 ・講義・演習「学校マネジメント」	県立学校(県立中学校を含む) 教諭 55人	1日	水前寺共済会館	6月～8月
333	学校司書実践研修	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 学習指導 生徒指導 連携・協働	学校司書(市町村費含)に対して、学校図書館における活動について研修を行うことにより、学校図書館の活性化と学校教育の利便性を向上させる。	・県立図書館の業務見学 ・読書バリアフリーについて ・学校図書館における活動について① ・学校図書館における活動について	小・中・義・高・特 学校司書 50人	1日	県立図書館	6月26日

【選択研修】

番号	研修名	所管	資質能力を構成する主な具体的要素	目的	内容 (はオンライン研修)	対象者 参加人数	日数	会場	日程等
401	心のきずなを深めるシンポジウム	学安	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 生徒指導	いじめの問題について理解を深め、学校と家庭、地域及び関係機関が一体となっていじめを許さない学校・学級づくりを推進する機運を高める。	・学校におけるいじめの防止等の取組や研究指定校における実践発表 ・情報集約担当者の役割と業務内容を説明 ・教職員、教育関係者及び保護者等の意識向上を図る取組等についての分科会 ・いじめの重大事態の発生防止に資する講演等の実施	小・中・義務教育学校、高等学校、特別支援学校、教育行政関係、保護者等 240人	1日	県庁地下大会議室	6月20日
402	小学校(幼稚園)体育指導力向上研修会	体育	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 学習指導 特別支援教育 学校安全	小学校体育及び幼稚園の運動遊び等の指導の充実・推進を図り、学習指導要領等を踏まえた学習指導の充実・推進に資する。	・実技指導 ・講話 ・グループワーク	希望者(各学校1人)	1日	県北・県南各会場	6月1日(ABC:県北) 7月27日(AC:県南) 7月28日(B:県南)
403	小学校水泳実技・水難事故防止セミナー	体育	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 学習指導 特別支援教育 学校安全	小学校における水遊び・水泳指導のための実技研修や水難事故を防止するための応急手当等を学ぶことにより、指導力の向上と事故防止を図る。	・実技指導 ・講話 ・グループワーク	希望者	半日	県立総合体育館プール	6月7日
404	中学校保健体育指導力向上研修会	体育	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 学習指導 特別支援教育 学校安全	中学校保健体育担当教員としての資質の向上を図り、学習指導要領を踏まえた学習指導の充実・推進に資する。	・実技指導 ・講話 ・グループワーク	希望者(各学校1人)	1日	県民総合運動公園等	6月8日(前期) 6月28日(後期)
405	高等学校等保健体育指導力向上研修会	体育	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 学習指導 特別支援教育 学校安全	高等学校保健体育担当教員としての資質向上を図り、学習指導要領を踏まえた学習指導の充実・推進に資する。	・実技指導 ・講話 ・グループワーク	高等学校及び特別支援学校の保健体育担当教員	1日	県民総合運動公園等	6月8日(前期) 6月28日(後期)
406	運動部活動指導教職員(部活動指導員含む。)及び地域の指導者指導力向上研修会	体育	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 学習指導 特別支援教育 学校安全	中・高等学校の運動部活動に従事している教職員(部活動指導員含む。)及び地域指導者の指導者としての資質・能力の向上を図る。	・行政説明 ・人権教育 ・講話 ・グループワーク	希望者(各学校1名程度)及び学校が部活動指導者として委嘱している地域指導者	半日	県庁地下大会議室	8月9日
407	創造 熊本の教育チャレンジゼミ	義務学人	教職としての素養 社会性 リーダーとしての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 学校経営 連携・協働	職務に関する高度な知識や技能を習得する研修を通して、特色ある教育活動を自律的に推進するマネジメント力や実践的指導等の向上を図ることで、各地域において中心的な役割を担い、学校を活性化させる管理職候補を育成する。	・講話 ・演習 ・課題研究等	各管内の推薦を受けた小中学校及び義務教育学校の中堅教員(20~40人程度)	3日	熊本県庁(予定)	6月6日(第1回) 8月8日(第2回) 10月17日(第3回)
408	「熊本の学び」ステップアップ研修	義務	学習指導 学級・学年経営 学校経営	「熊本の学び推進プラン」の実現のために、「子供たち誰一人取り残さない学びの保障」と「教員一人一人の授業力向上」を踏まえた授業改善等を推進する。また、各学校の特色を生かした「熊本の学び」の実践化を図る。	[研修テーマ] ・授業改善演習等 ・校内研修の活性化と充実への支援	教科等研修会、研究主任会、教務主任会、近隣の学校(中学校区など)との合同研修会及び各学校で行われる校内研修、教科部会等	90分程度	県内会場	6月~1月
409	「熊本の学び」シンポジウム	義務	指導技術 学級・学年経営 学校経営 学校としての連携・協働 管理職としての専門性	「熊本の学び」(R2~R12)の折り返しを迎えるに当たり、先進的な事例、今後の方向性を共有することで、県内の教員の意識を高める。	・実践及び事例発表 ・講話 ・意見交流 ・オンラインにて実施予定	各学校1人以上(管理職や研究主任等)	1日	各勤務校	12月予定
410	幼児教育アドバイザー育成研修	義務	校長としての素養 副校長・教頭としての素養 リーダーとしての素養 組織における連携・協働 教員の指導力育成 学校経営 連携・協働 リーダーとしての専門性	県内の幼稚園・認定こども園・保育所等において、幼児教育の質の向上を図るため、保育士、幼稚園教諭、保育教諭等が学び合い、園所や各地域においてリーダー的存在として、助言等を行うことができるような実践力を高める。	[第1回] ・講話「幼児理解を深める」 ・演習「幼児理解と評価」 [第2回] ・講話「園内研修の在り方・進め方」 ・演習「園内研修の進め方」 [第3回] ・講話「幼児理解と評価」 ・演習「実践報告及び今後に向けて」	各市町村において推薦する2人程度及び各園等において受講を希望する者1人程度計:約90人	半日	県庁地下大会議室	5月26日(第1回) 10月27日(第2回) 2月14日(第3回)
411	「地域と学校の連携・協働」関係者等研修	社教	学校経営 連携・協働 リーダーとしての専門性	「社会に開かれた教育課程」の実現のために必要なCSと地域学校協働活動の一体的な推進方策等について学ぶ。	・行政説明 ・講話 ・グループワーク	希望者(学校関係者、行政関係者、推進員等)	1日	県庁	8月17日
412	「地域と学校の連携・協働」推進実践交流会	社教	学校経営 連携・協働 リーダーとしての専門性	「社会に開かれた教育課程」の実現のために必要なCSと地域学校協働活動の一体的な推進方策等に関する実践から学ぶ。	・行政説明 ・実践事例発表 ・グループ協議	希望者(学校関係者、行政関係者、推進員、地域住民等)	半日	各教育事務所	未定 (各教育事務所で計画)
413	教職員のための菊池恵楓園現地研修	人同	教職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 学級・学年経営	菊池恵楓園での現地研修を通して、ハンセン病回復者及びその家族の人権についての基本的認識を深め、人権教育の推進に向けた資質の向上及び実践的な指導力を高める。	・フィールドワーク ・講話 ・行政説明 ・協議	県内の教職員(5年間(令和5年度まで)で全ての学校から参加)	1日	菊池恵楓園	8月17日

番号	研修名	所管	資質能力を構成する主な具体的要素	目的	内容 (はオンライン研修)	対象者 参加人数	日数	会場	日程等
414	人権教育フォーラム	人同	副校長・教頭としての素養 副校長・教頭としての使命感・倫理観 教員の指導力育成 学校経営 管理運営 人材育成 学校外との連携	「人権尊重の精神に立った学校づくり」に向け、副校長及び教頭の様々な人権問題についての基本的認識を深めるとともに、人権教育を組織的に推進する資質や能力の向上を目指す。	・行政説明 ・演習 ・協議	公立小中学校・義務教育学校の教頭及び県立中学校の副校長	半日	各教育事務所管内	9月～11月
415	タブレット活用授業実践研修(初級編)	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 学習指導 学習指導 特別支援教育 連携・協働	ICTを効果的に活用した学習指導の改善を推進し、児童生徒の情報活用能力を育成するための指導力向上を目指す。	・情報モラル ・情報活用能力の育成とICTの効果的な活用 ・ICTを活用した授業設計	小・中・義務・特の教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、事務職員、実習教師、講師、養護助教諭 40人	1日	県立教育センター	7月26日
416	プログラミング教育研修(ビジュアルプログラミング編)	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 学習指導 特別支援教育 連携・協働	学習指導要領の改訂に伴い変化するプログラミング教育の実施に向けて、環境設計や教材等の開発・改善を行う。	・プログラミング教育の概要 ・プログラミング体験 ・実践報告	小・中・義務・特の教頭、主幹教諭、指導教諭、実習教師、講師 オンデマンド型:制限無し リアルタイム型:制限無し(希望者) 集合:30人(希望者)	オンライン研修オンデマンド型 6月～12月 (オンライン研修リアルタイム型) 半日 (集合研修)1日	(オンライン研修オンデマンド型)各勤務校 (オンライン研修リアルタイム型)各勤務校 集合(希望者)県立教育センター	(オンライン研修オンデマンド型)6月～12月 (オンライン研修リアルタイム型)希望者)7月7日 集合(希望者)県立教育センター 8月9日
417	プログラミング教育研修(プログラミング言語編)	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 学習指導 特別支援教育 連携・協働	プログラミング教育に向けて、指導人材の養成と教材等の開発・改善を行う。	・プログラミング教育の概要 ・プログラミング操作体験 ・プログラミング環境の構築 ・アルゴリズムとプログラミング ・プログラミング基礎(主に普通科向け) ・データベース活用プログラミング(主に商業科向け) ・マイコンプログラミング(主に農業科・工業科向け)	高校の教頭、主幹教諭、指導教諭、実習教師、講師 オンデマンド型:制限無し リアルタイム型:制限無し(希望者) 集合:30人(希望者)	オンライン研修オンデマンド型 6月～12月 (オンライン研修リアルタイム型) 半日 (集合研修)1日	(オンライン研修オンデマンド型)各勤務校 (オンライン研修リアルタイム型)各勤務校 集合(希望者)県立教育センター	(オンライン研修オンデマンド型)6月～12月 (オンライン研修リアルタイム型)希望者)7月7日 集合(希望者)県立教育センター 8月9日
418	リーダー養成研修	センター	教職としての素養 社会性 リーダーとしての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学級・学年経営 学校経営 連携・協働 学校安全 リーダーとしての専門性	次期リーダーとしての役割と職務についての理解を深め、実践的指導力の養成や資質の育成を図る。	・講話「コーチングの在り方」 ・講話「リーダーの在り方」 ・講義・演習「学校マネジメント」	県立学校(県立中学校を含む)教諭 55人	1日	水前寺共済会館	8月17日
419	教育行政(教育事務)職員ステップアップ研修	学人	教育行政(教育事務)職・人事・人材育成基本方針による	教育行政(教育事務)職員を対象に、異なる校種(業種)の実務研修等を行い、異動後における事務処理の円滑化及び事務処理に対する不安の解消を図る。	・講話「人材育成」 ・演習等「県立学校の事務」 ・演習等「小中学校の事務」 ・演習等「行政の事務」 ・協議「グループワーク」	3年目及び6年目の教育行政(教育事務)職員のうち希望者	1日	県庁	未定(10月～2月)



【特別研修】

番号	研修名	所管	資質能力を構成する主な具体的要素	目的	内容 (はオンライン研修)	対象者 参加人数	日数	会場	日程等
501	知事部局派遣研修	教政	教職としての素養 社会性 リーダーとしての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 生徒指導 特別支援教育 連携・協働 リーダーとしての専門性	知事部局において、行政実務に従事させることにより県行政についての視野を広め、能力の開発に資することを目的とする。	市町村立学校及び県立学校の教員が2年間、知事部局において、行政職員の一員として業務に携わる。	市町村立及び県立学校教員	2年		
502	学校組織マネジメント研修	教政	教職としての素養 社会性 リーダーとしての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学校経営 連携・協働 学校安全 リーダーとしての専門性	学校ビジョンの構築、学校教育目標の具現化をマネジメントする専門的知見を活用し、組織的な取組を推進する力、学校、地域の教職員の専門性向上を推進する力を習得した指導者の養成を図る。	独立行政法人教職員支援機構の計画による 講義 実践発表 演習	小・中・県立学校等教員各回2人程度(実施要項の定めによる)	実施要項の定めによる	未定	独立行政法人教職員支援機構の計画による。
503	学校教育の情報化指導者養成研修	教政	学習指導 ICTや情報・教育データの効果的な利活用 学校安全	「GIGAスクール構想の実現」を踏まえ、児童生徒1人1台端末の環境におけるICTの効果的な活用を一層促進するとともに、新学習指導要領において、「情報活用能力」が全ての学習の基盤となる資質・能力として位置付けられたことを踏まえ、その育成のため、教師のICT活用指導力の向上を図る。	社会的背景と教育の情報化 情報活用能力の育成 教科等の指導におけるICT活用 学校及びその設置者等における教育の情報化に関する推進体制 学校の臨時休業等におけるICTを活用した取組、研修成果の活用	校長、副校長、教頭、主任幹事、指導教諭、指導教諭、教諭	3日	職場、自宅	独立行政法人教職員支援機構の計画による。
504	職業教育担当教員先端企業等研修	高校	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導	高等学校の産業教育担当教員に対して産業現場での研修や新技術に関する実技講習等を行い、知識・技術の習得と指導力の向上を図る。	民間企業等において、自ら設定した教科・科目のテーマに沿って、現場で指導を受けながら新しい知識、技術の習得を行う。	教職経験5年以上の職業教育担当教員5人程度	1週間程度	県内の企業、試験研究機関、その他県教育委員会が認めたる者	夏季休業中
505	国内留学派遣研修	高校	教職としての素養 社会性 リーダーとしての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 学級・学年経営 連携・協働	教員を長期にわたり大学や研究機関等に留学させることにより、その資質と指導力の充実を図る。	産業教育	1人	6ヶ月又は1年	産業界 県内大学等	
506	大学院派遣研修	高校	教職としての素養 社会性 リーダーとしての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 学級・学年経営 連携・協働	社会の変化に対応した学校教育を展開するため、教師としての専門性を高めるとともに、人間性のかん養を図る。	専門分野の研究	1人程度	1年又は2年	熊本大学 県立大学等	
		義務	リーダーとしての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 特別支援教育 学級・学年経営 学校経営 連携・協働 学校安全 リーダーとしての専門性	社会の変化に対応した学校教育を展開するため、教師としての専門性を高めるとともに、人間性のかん養を図る。	【熊本大学教職大学院】 現場との共同研究を含む実践科目や専門科目等による研究 【熊本県立大学大学院】 情報管理や公共経営等に関する専門分野の研究	小・中学校及び義務教育学校教員8人程度	2年	熊本大学 県立大学等	
507	教職員等中央研修	高義務学体学 校務安保 人	教職、管理職としての素養 社会性 リーダーとしての要素 使命感・倫理観 教員の指導力育成 組織における連携・協働 学校経営 管理運営 学校外との連携 学校安全 リーダーとしての専門性 人材育成  教育行政職員(学校事務職員)は教育行政(教育事務)職 人事・人材育成基本方針による	校長、教頭、中堅教員、事務職員に対し、学校の管理運営、学習指導などの諸問題について、それぞれの職務に必要な研修を行い、その職務遂行能力と指導力の向上を図る。	独立行政法人教職員支援機構等の計画による 校長研修 副校長・教頭等研修 中堅教員研修 次世代リーダー育成研修 4～8年目教員育成研修 生徒指導指導者養成研修 健康教育指導者養成研修 食育指導者養成研修 安全教育指導者養成研修 事務職員 体力向上マネジメント指導者養成研修 等	小・中・県立学校教員、事務職員、指導主事 人数は未定	各日程	独立行政法人教職員支援機構等	独立行政法人教職員支援機構の計画による。
508	指導力サポート研修	高義務特 校務支	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 特別支援教育 学級・学年経営	指導に課題がある教諭等の資質能力の向上を目的とし、その課題解決のため、主に所属校で研修を実施する。	学習指導、生徒指導、学級経営等を適切に行うことができるよう指導力及び教員としての資質の向上を図る。(授業研究、理論研修、講話、演習、課題別研修、社会体験研修)	県教育委員会 決定した人数	【高校】 【義務】 12月から2月の間で4回程度 【特支】 4月から9月の間の5回程度	所属校等	【高校】 【義務】 令和5年12月1日～令和6年2月28日 【特支】 令和5年4月1日～令和5年9月30日

番号	研修名	所費	資質能力を構成する 主な具体的要素	目的	内容 (はオンライン研修)	対象者 参加人数	日数	会場	日程等
509	指導改善研修	高 校 務 特 支	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 特別支援教育 学級・学年経営	指導が不適切な教諭等の課題を明確にし、その課題解決のため、一定期間の集中した研修を通して指導力等を回復させ、学校現場へ復帰させる。	学習指導、生徒指導、学級経営等を適切に行うことができるよう指導力及び教員としての資質の向上を図る。(基本研修、選択研修、課題研究、社会体験研修、実践的研修)	県教育委員 会で決定し た人数	1年 (延長6 か月)	教育センター及び県教育委員会が指定する研修場所	令和4年5月1日～令和6年3月31日
510	国立特別支援教育総合研究所研修	特 支	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 特別支援教育 学級・学年経営 連携・協働	障がいのある幼児児童生徒の教育を担当する教職員に対し、専門的知識及び技術を深めるために必要な研修を行い、その指導力の一層の向上を図り、今後の指導者としての資質を高める。	国立特別支援教育総合研究所の研修事業計画による。	特別支援学 校教員1～2 人	60日程 度	国立特別支援教育総合研究所	令和5年4月1日～令和6年3月31日
511	「特別支援教育」国内留学生派遣研修	特 支	教職としての素養 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学習指導 生徒指導 特別支援教育 学級・学年経営 連携・協働	特別支援教育に携わる教員等を留学させることにより、特別支援教育に必要な専門的知識、技術等を習得させ、支援者として、及び校内支援体制を推進する中心的存在としての専門性の向上を図る。	国立大学法人熊本大学特別支援教育特別専攻科の計画による。	小・中：3人 高・特：4人	1年	熊本大学	令和5年4月1日～令和6年3月31日

### 第3章 研修履歴の記録と研修履歴を活用 した対話に基づく受講奨励

## 1 対象となる教師の範囲

(1) 対象となる学校＝県立及び市町村立（熊本市を除く）の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校

(2) 対象となる職種＝校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、助教諭、養護助教諭及び講師

\*講師については、任用の期限を付さない常勤講師が対象。

\*臨時的任用教員の扱いについては、法的に記録の対象外であるため、研修履歴の記録は不要である。そのため、研修履歴を記録することは求めないが、教員の資質向上の観点から、人事面談の機会を活用した対話に基づく研修の受講奨励については実施するものとする。

## 2 研修履歴の記録の目的

研修履歴の記録は、対話に基づく受講奨励の際に活用することにより、教師が自らの学びを振り返るとともに、学校管理職等が研修の受講奨励を含む適切な指導助言等を行うことにより、効果的かつ主体的な資質向上・能力開発に資することを目的としている。

## 3 研修履歴の記録の範囲

区分	対象となる研修の種類
①記録が必須の研修	県教育委員会（県立教育センター、教育庁各課、各教育事務所）や市町村教育委員会（服務監督権者）が実施する研修
	独立行政法人教職員支援機構など外部機関が実施する研修で、教育委員会等の推薦により職務として受講するもの
	大学院修学休業により履修した大学院の課程等
	任命権者が開設した免許法認定講習及び認定通信教育による単位の修得
②自己申告により任意で記録する研修 ※資質向上に資するもの	所属校内で実施された研修・研究等（研究委託・研究指定、組織的に行う研究活動等一定の資質向上に資するもの）
	教師が自主的に参加する研修・講習等（教職員支援機構、大学、教職大学院、教科研究会、企業等のオンデマンド型研修・講習等を自己研鑽を目的として受講する場合等、①に該当するものを除く）

## 4 研修履歴の記録の内容

記録事項	説明
①職員に関する情報	所属名、所属コード、職員番号、職名、氏名、入職年度
②研修名	休学して履修した大学院課程の場合は、大学名と課程名を記載
③研修内容	研修要項等または教職員研修計画・研修概要の「内容」欄を記載
④主催者	主催の教育委員会名、学校名、団体名等を記載。県教育委員会の場合は所管課まで記載
⑤受講期日	受講した期日を記載
⑥研修形態	対面集合型、オンデマンド型、同時双方向オンライン型、通信教育型など
⑦教員指標との関係（関係する資質能力）	主なもの（3つ以内）を選択

## 5 研修履歴の記録の方法

令和5年度（2023年度）においては、電子ファイルにより記録する。

## 6 研修履歴の記録の時期及び情報提供

- ① 研修の受講後又は対話に基づく受講奨励が行われる面談の前までに教師個人が記録する。
- ② 上記①の研修履歴については、県教育委員会の指示により提出し、県教育委員会が管理する。
- ③ 県教育委員会は、教員本人、学校、服務監督権者である市町村教育委員会から研修履歴情報の提供を求められた場合は、情報提供を行う。

## 7 対話に基づく受講奨励の方法・時期・役割

対話に基づく受講奨励のそれぞれの役割については、(1)のとおりとする。  
また、対話に基づく受講奨励は、(2)及び(3)により実施するものとする。

### (1) 各役割

- ・ 県教育委員会・・・県立学校長に対する受講奨励
- ・ 市町村教育委員会・・・所管する市町村立学校長に対する受講奨励
- ・ 校長等管理職・・・所属校の教員に対する受講奨励

### (2) 面談による実施

- ・ 面談による受講奨励については、以下のいずれかにより実施するものとする。
  - ① 人事評価制度における上期の期首面談と合わせて校長が行う。
  - ② 上期の期首面談時期に校長が別途機会を設けて行う。
  - ③ 上期の期首面談と合わせて校長から権限の委任を受けた副校長又は教頭が行う。
- ・ 面談による受講奨励の具体的方法は、以下のとおりとする。
  - ① 期首における年度目標の設定にあたり、学校管理職等は、指標・教員研修計画や教師個人の職責・経験・適性に照らした人材育成、学校が目指す教育を進めるために必要な専門性・能力の確保などの観点から、過去の研修履歴を活用した研修受講の奨励（情報提供や指導助言）を行う。
  - ② 教師は、自らの専門職性を高めるために主体的に学びをマネジメントし、学校を支える力を獲得・強化する観点から、自らの職能開発のニーズも踏まえた目標を設定する。

### (3) その他の機会を捉えた実施

上記(2)のほか、県教育庁からの各種研修の案内に対し、学校から受講候補者を推薦する場面など、様々な機会を捉えて受講奨励を実施するものとする。

## 8 学校内で行う研修履歴の記録と学校管理職以外の教師による対話に基づく受講奨励

- ・ 法律に基づき任命権者が行う研修履歴の記録とは別に、校内研修を中心に、学校現場における組織的かつ日常的な学びの記録を蓄積し、年間を通じた校内研修の総括の場や職員面談等の場において、その蓄積された記録を基に振り返り、今後の学校全体としての組織的な学びの方針・内容等に反映していくことも、教師の資質向上のための取組として有効と考えられる。
- ・ 教師同士の学び合い文化を醸成する観点から、法律の規定とは直接関係なく、必ずしも研修履歴を活用することを前提としないが、例えばミドルリーダーなど学校管理職以外の教師の協力を得て、当該教師を通じて、様々な機会を活用し、対話に基づく受講奨励を行うことも考えられる。

# 熊本県教員等の資質向上に関する指標

令和5年（2023年）1月  
熊本県教育委員会

## 1 はじめに

平成28年11月の教育公務員特例法の一部改正により、校長及び教員（以下「教員等」という。）が高度専門職としての職責、経験及び適性に応じて身に付けるべき資質を明確にするため、公立の小学校等\*1の任命権者には、教員等としての資質の向上に関する指標の策定が求められています。

この「熊本県教員等の資質向上に関する指標」は、「くまもとの教職員像\*2」を踏まえ、各教員等のキャリアアップや人材育成の道しるべとして、経験段階に応じて求められる資質能力を明確化したものです。

一人一人の教員等が、学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、主体性を発揮しながら、個別最適な学び及び協働的な学びにより、教職生涯を通じて学び続けるという新たな教師の学びの実現を目指すものです。

\*1 公立の小学校等の範囲は、公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、幼稚園及び幼保連携型認定こども園。

「公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針」

\*2 保護者や教職員自身など、教育の内外から求められる教職員の目指すべき姿を示すものとして作成したもの。「くまもとの教職員像」（平成17年4月5日熊本県教育委員会）

## 2 経験段階について

採用段階後のキャリアステージについては、経験年数を目安として5つの期に設定しています。

なお、教員等の資質は必ずしも経験年数にはよらないことから、経験段階は、学校現場や個人の状況・役割等に応じて資質の向上を図る際の目安としてください。

経験段階 (経験年数)	概 要
採用段階	養成段階・採用前と基礎期をつなぐ段階
① 基礎期 (1～5年)	学校組織の一員として教育活動を展開し、学習指導・生徒指導、学級経営などの実践的指導力の基礎を身に付ける段階（将来にわたる教員としての基本的姿勢を固める時期）
② 向上期 (6～10年)	学校組織の一員として職務を遂行する中で学校教育全般についての視野を広げ、実践的指導力を高める段階
③ 充実期 (11～16年)	ミドルリーダー*3として、高度な知識や技能を習得・活用し、実践的指導力を発揮するなど、学校経営に資する専門性を身に付ける段階 *3 若手教員育成の要としてリーダーシップを発揮する中堅教員
④ 発展期 (17～25年)	学校の中核教員*4として全校的視野を持ち、連携・協働による指導力を発揮するとともに、より高度な知識や技能を習得・実践し、学校経営に資する専門性を高める段階 *4 学校組織の中核的役割を担い、学校内外で専門性やリーダーシップを発揮するベテラン教員
⑤ 円熟期 (26年～)	指導者として、これまでの豊富な経験を生かして他の教員へ指導・支援を行うなど、広い視野で学校経営に資する専門性を発揮する段階

### 3 対象職種について

本指標は、全ての教員等に対応するものとして策定しています。養護教諭等については、具体的な業務の内容に応じて、下表のとおり読みかえるものとします。

職 種	読みかえの例	
養 護 教 諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習指導」 → 「保健教育」「健康相談」</li> <li>・「学級経営」 → 「保健室経営」「保健管理」</li> </ul>	
栄 養 教 諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習指導」 → 「食に関する指導」</li> <li>・「学級経営」 → 「学校給食管理」</li> </ul>	
特別支援学校幼稚部教諭 幼稚園教諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校」 → 「園」</li> <li>・「児童生徒」 → 「幼児」</li> <li>・「学習指導・生徒指導」 → 「幼児教育」</li> </ul>	

### 4 活用例について

活用主体	活 用 例
管 理 職 (校長・副校長・教頭)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校経営ビジョンに基づく、組織的な人材育成のため</li> <li>○自己の現時点における資質能力を把握し、資質向上を図るため</li> <li>○教員の資質向上に関する指導助言（研修受講奨励を含む）等を行うため</li> </ul>
教 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己の現時点における資質能力を把握するため</li> <li>○自己のキャリアアップのための目標設定の参考とするため</li> </ul>
教 員 志 願 者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○求められる教員像を把握するため</li> <li>○教員としてのキャリアを俯瞰し、自己の学修の目標や方向を設定する際の参考とするため</li> </ul>
教 育 委 員 会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○長期的な視点に立った人材育成のため</li> <li>○研修体系の再構築、研修プログラム等の開発・体系化のため</li> </ul>
教 員 養 成 機 関	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職課程、教職大学院のカリキュラムの改善のため</li> <li>○教育委員会等と連携した研修プログラム等の開発・研究のため</li> </ul>



熊本県教員等の資質向上に関する指標

くまもとの教職員像		求められる資質能力					資質能力を構成する具体的要素の例	
		経験段階 <small>※経験年数は およその目安</small>	採用段階	基礎期 (1～5年)	向上期 (6～10年)	充実期 (11～16年)		発展期 (17～25年)
教職員としての基本的資質	総合的人間力	人権尊重の精神を基盤に教育的愛情を持って行動し、コミュニケーション力を発揮する能力。	深い教育的愛情と豊かな人権感覚を持ち、コミュニケーション力を発揮し信頼関係を構築する能力。	深い教育的愛情と豊かな人権感覚を持ち、良好な信頼関係を構築し、状況に応じて的確に発言・行動する能力。	深い教育的愛情と豊かな人権感覚を持ち、ミドルリーダーとしての的確な状況判断能力とその判断に基づく行動力。	深い教育的愛情と豊かな人権感覚を持ち、中核教員としての全校的視野に立った各種調整能力。	深い教育的愛情と豊かな人権感覚を持ち、指導者としての他の教職員へ助言・支援するなど、学校全体の指導的役割を果たすことのできる各種調整能力。	<p>【教職としての素養】 豊かな人間性、人権意識、多様性（ダイバーシティ）の尊重、教育的愛情、教育的ニーズの把握、個に合わせて考える力、個性の伸長、気付き力、想像力、省察する力、情報モラル、SDGs 等</p> <p>【社会性】 円滑なコミュニケーション、良好な人間関係、他者との協力や関わり、連携・協働、論理的思考力、課題解決能力、状況判断能力、課題対応力、各種調整能力 等</p> <p>【リーダーとしての素養】 人材育成力、判断力、決断力、行動力、リーダーシップ 等</p>
		教育公務員としての使命感や責任感を持って児童生徒に接する姿勢。	教育公務員としての使命感・倫理観を持ち、組織の一員として職責を遂行する謙虚な姿勢。	教育公務員としての使命感・高い倫理観を持ち、若手職員に指導助言を行うなど、学校運営の一翼を担おうとする意識。	教育公務員としての使命感・高い倫理観を持ち、ミドルリーダーとして後輩職員に適切な指導を行うなど、学校運営の一端を担おうとする意識。	教育公務員としての使命感・高い倫理観を持ち、中核教員としての全校的視野に立った指導力を発揮しようとする姿勢。	教育公務員としての崇高な使命感と職責の重要性を踏まえた深い倫理観を持ち、指導者として学校目標の達成のために常に新しい知識を求め、実践に生かそうとする姿勢。	<p>【使命感・倫理観】 学校及び教職の意義理解、学び続ける姿勢、校務への積極的な参画、社会・環境や人に対する責任感、自己理解・自己管理能力、コンプライアンス意識 等</p> <p>【組織における連携・協働】 学校組織マネジメント、学校運営の持続的な改善、危機管理の知識や視点、謙虚な姿勢、他の教職員との連携・協働、若手教員の育成に係る連携・協働 等</p>
教職員としての専門性	実践的指導力等	養成段階で身に付けるべき教科の専門性を基盤にした学習指導・生徒指導等の基礎的な能力。	学習指導・生徒指導等をはじめ職務の基礎的な知識や技能を習得し、活用する能力。	学習指導・生徒指導等をはじめ職務に関する実践的・専門的な知識、技能を習得し活用する能力。	学習指導・生徒指導等をはじめ職務に関する高度な知識、技能を習得し、ミドルリーダーとして効果的に実践できる能力。	学習指導・生徒指導等をはじめ職務に関するより高度な知識や技能を習得し、中核教員としての全校的視野に立った実践的指導力を学校内外で発揮する能力。	<p>【学習指導】 関係法令・学習指導要領の理解、カリキュラム・マネジメント、児童生徒の興味・関心を引き出す教材研究、主体的・対話的で深い学びのための授業改善、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた学習者中心の授業創造、協働した授業研究、授業設計・実践・評価・改善、各教科等の専門的知識、ファシリテーション 等</p> <p>【生徒指導】 児童生徒理解、生徒指導の意義・理論の理解、児童生徒との信頼関係構築、教職員・家庭・地域・関係機関等との連携、可能性や活躍の場を引き出す学級経営、個に応じた指導や集団指導、悩みや思いを共感的に受け止める教育相談、キャリア教育、進路指導、自己実現能力の育成、いじめ等の問題行動への対応、不登校児童生徒への支援、学校生活への適応や人格の成長への援助 等</p>	
		基本的な障がいによる特性についての基礎的な理解に基づき、合理的配慮や指導方法の工夫を行う能力。	学習指導・生徒指導、特別な配慮や支援を効果的に行うために、ICTや情報・教育データを利活用する能力。	基本的な障がいによる特性についての理解に基づき、合理的配慮や指導方法の工夫を行う能力。	学習指導・生徒指導、特別な配慮や支援を効果的に行うために、ICTや情報・教育データを利活用し、情報活用能力の育成を行うとともに、組織的に指導力向上を図ることのできる能力。	【特別支援教育】 児童生徒理解、教育相談等による教育的ニーズの把握、合理的配慮、学習上又は生活上の困難に応じた指導・支援の工夫、特別支援教育コーディネーターとの連携等の組織的対応 等	【ICTや情報・教育データの効果的な利活用】 ICTの活用の意義理解、ICTの効果的な活用、情報活用能力の育成、学習改善のための教育データの活用、アセスメント 等	
マネジメント力	マネジメント力	養成段階で身に付けるべき児童生徒理解や学級経営の基礎的な能力と、学校組織等や自己の役割を理解する能力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の基礎的な知識や集団指導の能力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の専門的な知識や効果的な集団指導の能力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営及び学年経営等の高度な知識や技能の習得と、ミドルリーダーとして学年を運営するための経営力・企画力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の参画者としてのリーダーシップを発揮し、指導者として学校内外の能力や資源を開発・活用できる広範な経営力・企画力。	<p>【学級・学年経営】 児童生徒理解、よさや可能性の伸長に基づく学級・学年経営、集団指導の能力、学校生活への適応や人格の成長への援助、キャリア教育、進路指導、ガイダンス及びカウンセリング 等</p> <p>【学校経営】 学校組織マネジメント、学校運営の持続的な改善、校務への積極的な参画と役割の遂行、自身や学校の強み・弱みの理解、カリキュラム・マネジメント、組織的・計画的な教育課程の編成と実施及び改善 等</p> <p>【連携・協働】 教職員間・家庭・地域・関係機関との連携・協働、同僚性の構築、学校間の連携、防災、SDGs 等</p> <p>【学校安全】 危機管理の知識や視点、防災、安全・安心な教育環境の構築、学校安全への対応 等</p> <p>【リーダーとしての専門性】 交渉力、リーダーシップ、経営力、企画力、ニーズに適応させる能力、ICTや情報・教育データの利活用、アセスメント、ファシリテーション 等</p>	
		安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の基礎的な知識や集団指導の能力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の専門的な知識や効果的な集団指導の能力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営及び学年経営等の高度な知識や技能の習得と、ミドルリーダーとして学年を運営するための経営力・企画力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の参画者としてのリーダーシップを発揮し、指導者として学校内外の能力や資源を開発・活用できる広範な経営力・企画力。	【特別支援教育】 児童生徒理解、教育相談等による教育的ニーズの把握、合理的配慮、学習上又は生活上の困難に応じた指導・支援の工夫、特別支援教育コーディネーターとの連携等の組織的対応 等		

※「資質能力を構成する具体的要素の例」の【生徒指導】及び【特別支援教育】には、「特別な配慮や支援を必要とする子供への対応」を含みます。

※各経験段階における「求められる資質能力」と「資質能力を構成する具体的な要素の例」を組み合わせ活用してください。

# 熊本県教員等の資質向上に関する指標【校長】

くまもとの教職員像		求められる資質能力	資質能力を構成する具体的要素の例	具体的行動例	
教職員としての基本的資質	<p>①教育的愛情と人権感覚 自らの言動が児童生徒の人格形成に大きな影響を与えることを自覚し、豊かな人権感覚を持って、一人一人に温かく、また公平に接する教職員</p> <p>②使命感と向上心 教職員としての使命感と情熱を持ち続け、時代の変化から生じる新しい課題にも積極的に対応するため、常に新しい知識を求め、実践に生かす教職員</p> <p>③組織の一員としての自覚 互いに情報を共有し、協力し合って組織的に課題に対応する教職員</p>	総合的人間力	一人一人の教職員に対する深い理解を基に信頼関係を築き、深い教育的愛情と豊かな人権感覚を持ち、保護者及び地域の願いを踏まえて教職員へ助言・支援するなど、学校全体の指導的役割を果たすことのできる確かな判断力・決断力等の能力。	<p>児童生徒及び教職員に対する深い教育的愛情とともに育成に対する使命感や責任感を持ち、校長としての高い見識と専門性に基づく教育理念を提示する。</p> <p>人間性豊かで包容力があり、児童生徒、教職員、保護者及び地域の思いを受け止め、真摯に対応する。</p> <p>教職員、児童生徒、家庭、地域及び行政の五者による連携を常に意識し、地域とともにある学校を構築するためにコミュニケーションを図りながら信頼関係を築く。</p> <p>課題に対して動じず、落ち着いて状況を見極め、的確な判断を伝達して指導助言を行い、組織で迅速に対応する。</p>	
		使命感・倫理観	教育公務員としての崇高な使命感と職責の重要性を踏まえた深い倫理観を持ち、本県教育プランの基本理念の実現に向けて、自ら学び続けるとともに、学校目標の達成に全力を傾けようとする姿勢。	<p>児童生徒及び教職員を育成し、地域の発展に寄与しようとする崇高な使命感と深い倫理観を持ち、教職員、児童生徒、家庭及び地域から信頼を得る言動を常に行う。</p> <p>教育ビジョンを教職員、児童生徒、家庭、地域及び行政と共有し、学校教育目標の実現を目指して、五者による連携ができる協働体制を整える。</p>	
教職員としての専門性	<p>①児童生徒理解と豊かな心の育成 児童生徒との信頼関係を培い、一人一人の個性やよさをしっかりと見つめ、自分に対する自信と他者に対する思いやりの心を育む教職員</p> <p>②学習の実践的指導力 基礎・基本を習得させるための徹底した指導と児童生徒が自ら学び自ら考える力を身に付ける学習を着実に展開し、確かな学力を育む教職員</p> <p>③保護者・地域住民との連携 保護者・地域住民の大きな期待があることを自覚し、保護者や地域住民と情報を共有し、またそのニーズの把握に努め、互いの信頼関係の中で課題解決に当たる教職員</p>	実践的指導力等	国や地方自治体等の動きを踏まえて、学校全体の課題や展望を整理した上で、豊かな教職経験を踏まえた助言等、他の教職員の力量形成を支援・指導する能力。	<p>リーダーを中心とした組織を整え、「学びの主体となる児童生徒を育てる」ことを意識した学習指導及び授業改善を学校総体として実現できるように指導助言を行う。</p> <p>「安心と信頼にあふれ、高め合う学級・学年」の実現や教員の学級経営力・学年経営力を高めるための指導助言を行う。</p> <p>特別支援教育実施のリーダーシップを発揮しつつ体制の整備等を行うとともに、リーダーを中心とした組織を整え、特別な配慮や支援を必要とする児童生徒の特性等の理解とニーズに応じた支援及び組織的な対応が学校総体としてできるように指導助言を行う。</p> <p>リーダーを中心とした組織を整え、ICTや情報・教育データの活用に対する意義理解と効果的な活用、教育データの適切な活用ができるように指導助言を行う。</p>	
		マネジメント力	<p>学校教育目標を確立し、安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学校経営等の責任者としてのリーダーシップを発揮し、教職員、児童生徒、家庭、地域及び行政の五者で共有、連携・協働しながら、学校内外から求められるニーズに適應させる能力及び学校内外の資源を開発・活用できる広範な経営力・企画力。</p>	【学校経営】 カリキュラム・マネジメント、学校経営方針の提示、教育ビジョンの共有、リーダーシップ、コミュニティスクール、地域学校協働活動、アセスメント、ファシリテーション 等	<p>学校の実態や課題を広く情報収集して学校教育目標を設定し、学校の行動指針や課題解決に向けての具体的なビジョンを教職員、児童生徒、家庭、地域及び行政の五者で共有、連携・協働しながら教育資源を活用して課題解決を行う。</p> <p>確固とした教育理念に基づいて学校経営方針や学校教育目標等を示し、教職員全体から高い信頼感を得ながら、組織をまとめ動かすとともに、地域からも高い信頼を得て、学校運営協議会等を活用し、地域と連携・協働しながら学校運営を行う。</p>
				【管理運営】 学校組織の整備、危機管理、アセスメント、労務管理、労働安全管理（働き方改革を含む）等	<p>既存の校務分掌組織を学校の教育ビジョンや課題に応じて再編制し、各校務分掌の主任や学年主任等に適切な指示を出したり、臨機応変に新たなプロジェクトチームをつくったりして、機動的な組織体制を構築する。</p> <p>防災やリスクマネジメント・クライシスマネジメントの視点から、学校を取り巻く状況等から近い将来起こりうる問題を予想するとともに、近年全国各地で起こっている学校・児童生徒等に関わる事件・事故等の内容を精査し、対処の在り方を適切に決定し、類似の事件・事故等に対処できるようにする。</p> <p>組織の長として常に課題意識を持ち、教職員のサービスの状況及び労働安全管理の実施状況をICTや情報・教育データを効果的に活用して管理するとともに、教職員の安全と健康の確保を図るため、リーダーシップを発揮し、対処する。</p>
				【人材育成】 評価・管理、教職員の育成、ファシリテーション等	<p>教職員が自らの目標の達成状況や課題について、相談しやすい雰囲気をつくるとともに、教職員が設定した目標の達成状況を確認しながら、可能な限り定期的に本人にフィードバックし、適切な指導助言を行い、評価結果に対する納得性を高める。</p> <p>将来教職員が教育現場においてリーダーシップを発揮するために、長期的な観点から教職員がどのようなステップアップを踏めばよいのか想定した上で、教職員が能力を伸ばすために経験しなければならない場面や機会を意図的に設定し経験させることで、教職員の資質向上を図る。</p>
【学校外との連携】 家庭・地域・行政・関係機関との連携、アセスメント、ファシリテーション 等	<p>家庭、地域、行政及び関係機関と双方向の情報交換を行い、必要に応じて学校教育目標や教育課程等に反映させる。</p>				



熊本県教員等の資質向上に関する指標【副校長・教頭】

くまもとの教職員像	求められる資質能力	資質能力を構成する具体的要素の例	具体的行動例
<b>教職員としての基本的資質</b> ①教育的愛情と人権感覚 自らの言動が児童生徒の人格形成に大きな影響を与えることを自覚し、豊かな人権感覚を持って、一人一人に温かく、また公平に接する教職員 ②使命感と向上心 教職員としての使命感と情熱を持ち続け、時代の変化から生じる新しい課題にも積極的に対応するため、常に新しい知識を求め、実践に生かす教職員 ③組織の一員としての自覚 互いに情報を共有し、協力し合って組織的に課題に対応する教職員	<b>総合的人間力</b> 深い教育的愛情と豊かな人権感覚を持ち、保護者及び地域の願いを踏まえて教職員へ助言・支援するなど、学校全体の指導的役割を果たすことのできる確かな判断力・決断力等の能力。	<b>【副校長・教頭としての素養】</b> 深い教育的愛情、豊かな人権感覚、人材育成力、判断力、決断力、行動力、コミュニケーション力、交渉力、受容力、リーダーシップ 等	児童生徒及び教職員に対する深い教育的愛情とともに育成に対する使命感や責任感を持ち、副校長（教頭）としての高い見識と専門性に基づく教育理念を提示する。 人間性豊かで包容力があり、児童生徒、教職員、保護者及び地域の思いを受け止め、真摯に対応する。 教職員、児童生徒、家庭、地域及び行政の五者による連携を常に意識し、地域とともにある学校を構築するためにコミュニケーションを図りながら信頼関係を築く。 課題に対して動じず、落ち着いて状況を見極め、校長に報告するとともに、的確な判断を教職員に伝達して指導助言を行い、組織で迅速に対応する。
	<b>使命感・倫理観</b> 教育公務員としての崇高な使命感と職責の重要性を踏まえた深い倫理観を持ち、本県教育プランの基本理念の実現に向けて、自ら学び続けるとともに、主体的に学校経営を推進し、学校目標の達成に全力を傾けようとする姿勢。	<b>【副校長・教頭としての使命感・倫理観】</b> 崇高な使命感、深い倫理観、学校運営の持続的な改善、危機管理の知識や視点、学び続ける姿勢、主体的な学校経営の推進 等	児童生徒及び教職員を育成し、地域の発展に寄与しようとする崇高な使命感と深い倫理観を持ち、教職員、児童生徒、家庭及び地域から信頼を得る言動を常に行う。 校長の示した教育ビジョンを教職員、児童生徒、家庭、地域及び行政と共有し、学校教育目標の実現を目指して、五者による連携ができる協働体制を整える。
<b>教職員としての専門性</b> ①児童生徒理解と豊かな心の育成 児童生徒との信頼関係を培い、一人一人の個性やよさをしっかりと見つめ、自分に対する自信と他者に対する思いやりの心を育む教職員 ②学習の実践的指導力 基礎・基本を習得させるための徹底した指導と児童生徒が自ら学び自ら考える力を身に付ける学習を着実に展開し、確かな学力を育む教職員 ③保護者・地域住民との連携 保護者・地域住民の大きな期待があることを自覚し、保護者や地域住民と情報を共有し、またそのニーズの把握に努め、互いの信頼関係の中で課題解決に当たる教職員	<b>実践的指導力等</b> 豊かな教職経験を踏まえた助言等、校長の補佐役として他の教職員の力量形成を支援・指導する能力。	<b>【教員の指導力育成】</b> 関係法令・学習指導要領の理解、授業改善、学習指導、生徒指導、キャリア教育、問題行動への対応、特別な配慮や支援を必要とする児童生徒の特性等の理解・組織的対応、ICTの活用意義理解と効果的な活用、教育データの適切な活用、カリキュラム・マネジメント 等	リーダーを中心とした組織を整え、「学びの主体となる児童生徒を育てる」ことを意識した学習指導及び授業改善を学校総体として実現できるように指導助言を行う。 「安心と信頼にあふれ、高め合う学級・学年」の実現のために、教員の学級経営力・学年経営力を高めるための指導助言を行う。 リーダーを中心とした組織を整え、特別な配慮や支援を必要とする児童生徒の特性等の理解とニーズに応じた支援及び組織的対応が学校総体としてできるように指導助言を行う。 リーダーを中心とした組織を整え、ICTや情報・教育データの活用に対する意義理解と効果的な活用、教育データの適切な活用ができるように指導助言を行う。
	<b>マネジメント力</b> 校長が掲げる経営方針や方向性に沿って、安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学校経営等の推進者として主体性を発揮し、学校内外から求められるニーズに適切させる能力及び学校内外の資源を開発・活用できる広範な経営力・企画力。	<b>【学校経営】</b> カリキュラム・マネジメント、学校経営方針・教育ビジョンの共有・具現化、リーダーシップ、コミュニティスクール、地域学校協働活動 等	学校教育目標の設定に参画し、校長の示した教育ビジョンを具現化するため、教頭や主幹教諭、主任主事等とともに（特別支援学校においては、各学部主事や主任主事等とともに）、学校の実情に応じた取組みを行う。 校長の補佐役として教職員全体から高い信頼感を得ながら組織をまとめ動かすとともに、学校運営協議会等を活用し、地域と連携・協働しながら地域社会からも高い信頼を得る。
		<b>【管理運営】</b> 学校組織の整備、安全管理、危機管理、アセスメント、サービス管理、労働安全管理（働き方改革を含む）等	既存の校務分掌組織を学校の教育ビジョンや課題に応じて再編制できるよう校長を補佐し、各校務分掌の主任や学年主任等に適切な指示を出し組織を活性化する。 防災やリスクマネジメント・クライシスマネジメントの視点から、学校を取り巻く状況等から、近い将来起こりうる問題を予想するとともに、対処の在り方を適切に決定する。 教職員の安全と健康について情報収集と分析を行い、具体的な活動等の必要な措置を積極的に提案する。
	<b>【人材育成】</b> 評価・管理、教職員の育成、ファシリテーション 等	教職員が自らの目標の達成状況や課題について相談しやすい雰囲気をつくるとともに、教職員が設定した目標の達成状況を確認しながら可能な限り定期的に本人にフィードバックし、適切な指導を行う。 校長と連携して教職員が能力を伸ばすために経験しなければならない場面や機会を意図的に設定し経験させることで、教職員の資質向上を図る。	
<b>【学校外との連携】</b> 家庭・地域・行政・関係機関との連携、アセスメント、ファシリテーション 等	家庭、地域、行政及び関係機関と双方向の情報交換を行い、必要に応じて学校教育目標や教育課程等に反映させる。		

※副校長については、経験年数や各校の実情に合わせて校長指標を参考にしながら活用してください。

## ○事務職員指標

	経験段階 ※ 経験年数は およその目安	総合的人間力	実務力	政策形成力	マネジメント力
求められる 資質・能力	採用段階	教職員としての使命感・責任感と人権尊重の精神を基盤として行動し、コミュニケーション力や協調性を発揮する能力。	採用段階で身に付けるべき教育行政や学校に関する基本的な知識及びあらゆる機会を捉えて能力向上を図り自己実現のために成長していこうとする意識。	採用段階で身に付けるべき学校組織を理解する能力。	採用段階で身に付けるべき組織における自己の役割を理解する能力。
	育成期 (1～10年) ※ジョブローテーションを通じた基盤づくり	教職員としての高い使命感・倫理観と豊かな人権感覚を持ち、学校内外の関係者と良好な関係を構築するため必要となるコミュニケーション力。状況に応じて的確に発言・行動できる能力	前向きに挑戦する姿勢とコスト・スピード意識を持ち、担当業務をはじめ職務に関する基礎的知識及び法的根拠を習得し、他の職員と協働しながら、適正かつ迅速に処理する能力。	県政全般と地域の実情を意識し、所属目標や経営方針に沿った、よりよい教育活動を推進するための基礎的な知識や企画立案力。	担当業務を管理・統制し、課題を発見するとともに、改善を提案できる能力。所属のリスクマネジメントを理解し、課題意識を持って、実践する能力。
	充実・発展期 (11～20年)	教職員としての高い使命感・倫理観と豊かな人権感覚を持ち、学校内外の関係者と有効で建設的な関係を構築するために必要となる均衡・交渉・調整能力。ミドルリーダーとしての的確な状況判断能力・行動力。	ミドルリーダーとして教育行政や学校に関する幅広く専門的な知識等を活かし、高度な職務を積極的に協働しながら、コスト・スピード意識を持って適切に遂行する能力。	県政全般と地域の実情を理解し、所属目標や経営方針に沿った、よりよい教育活動を推進するための高度な知識や政策形成力。	ミドルリーダーとして事務室等を運営するための経営管理力や統率力。所属のリスクマネジメントを実践し、必要な提案・支援を行う能力。
	円熟期 (21年～)	教職員としての高い使命感・倫理観と豊かな人権感覚を持ち、学校内外の関係者とより有効で建設的な関係を構築するために必要となる均衡・交渉・調整能力。他の教職員へ助言・支援するなど、所属全体の指導的役割を果たすことのできる課題対応力・各種調整能力。 〈行政管理職、教員管理職、県立学校事務長、市町村立学校事務長〉 教職員としての高い使命感・倫理観と豊かな人権感覚を持ち、学校内外の関係者とより有効で建設的な関係を構築するために必要となる均衡・交渉・調整能力。管理職として他の教職員へ助言・支援するなど、所属全体の指導的役割を果たすことのできる的確な判断力・決断力などの能力	事務のスペシャリストとして、教育行政や学校に関する幅広く専門的な知識や強みのある職務分野を活かし、更に高度な職務を積極的に協働しながらコスト・スピード意識を持って適切に遂行するとともに、他の職員の力量形成を支援・指導する能力。 〈行政管理職、教員管理職、県立学校事務長、市町村立学校事務長〉 管理職として、所属の事務等を総括し、これまで培った豊かな経験を踏まえた助言等、他の職員の力量形成を支援・指導する能力。	事務のスペシャリストとして、県政全般と地域の実情を視野に入れ、所属目標や経営方針に沿った、よりよい教育活動を推進するための更に高度な知識や行政職の専門性を活かした政策形成力。 〈行政管理職、教員管理職、県立学校事務長、市町村立学校事務長〉 管理職として、県政全般と地域の実情を踏まえ、所属目標や経営方針の実現に向けた、よりよい教育活動を推進するためのリーダーシップや行政職の専門性を活かした政策形成力。	事務のスペシャリストとして、リーダーシップを発揮し、所属内外の能力や資源を開発・活用できる広範な経営管理力・統率力及び求められるニーズに適応させる能力。責任者として所属のリスクマネジメントを総括し、管理運営する能力。 〈行政管理職、教員管理職、県立学校事務長、市町村立学校事務長〉 管理職として、所属内外の能力や資源を開発・活用できる広範な経営管理力・統率力及び求められるニーズに適応させる能力。責任者として所属のリスクマネジメントを総括し、管理運営する能力。

※「くまもとの教職員像」を踏まえ、平成29年11月に通知した「教育行政（教育事務）職 人事・人材育成基本方針」を基に本指標を策定。「自ら考えてチャレンジし、積極的に協働しながら、高い意識を持って実践する職員」を本県教育委員会の求める事務職員像として定めている。